

MUTOH

取扱説明書

**OPERATION
MANUAL**

Layout and Print ツール

ご使用前に必ずお読みください

目次

| | | |
|------|---------------------|----|
| 1 | はじめに | 4 |
| 2 | 動作環境 | 5 |
| 3 | 取扱可能な画像フォーマット | 6 |
| 3-1 | 一般的な画像 | 6 |
| 3-2 | 特殊な画像 | 7 |
| 4 | 印刷方法について | 8 |
| 5 | 操作画面について | 10 |
| 6 | 基本操作方法 | 11 |
| 6-1 | 初回起動 | 11 |
| 6-2 | カラー印刷 | 12 |
| 6-3 | 印刷画質の変更 | 17 |
| 6-4 | ホワイト印刷 | 18 |
| 6-5 | 重ね印刷の乾燥時間 | 19 |
| 7 | テスト印刷 | 21 |
| 7-1 | インク量調整 | 21 |
| 7-2 | カラーパレット | 25 |
| 8 | 機能説明 | 26 |
| 8-1 | メイン画面 | 26 |
| 8-2 | プラテン外枠・印刷領域 | 28 |
| 8-3 | 補足情報 | 29 |
| 8-4 | プラテンの選択 | 30 |
| 8-5 | 編集領域の拡大縮小 | 31 |
| 8-6 | 画像の挿入 | 32 |
| 8-7 | 画像の拡大縮小、移動 | 33 |
| 8-8 | 画像の編集メニュー | 34 |
| 8-9 | カラーデータ表示、ホワイトデータ表示 | 35 |
| 8-10 | プレビューモード・編集モードの切り替え | 36 |
| 8-11 | 画像の配置 | 37 |
| 8-12 | 画像とテキストの切り替え | 38 |
| 8-13 | テキストの挿入 | 39 |
| 8-14 | ルーラーと補助線 | 46 |
| 8-15 | 画像の中の一部の色を透明にする | 51 |
| 8-16 | 画像のトリミング | 54 |
| 8-17 | 作画設定 | 57 |
| 8-18 | 印刷 | 59 |
| 8-19 | 簡易インクコスト計算 | 61 |
| 8-20 | ファイルの保存と読み込み | 63 |
| 8-21 | 言語切替 | 64 |
| 8-22 | プリンタ選択 | 64 |

| | | |
|------|----------------------------------|----|
| 8-23 | メディアプロファイルの追加 | 65 |
| 8-24 | プラテン背景色の変更 | 66 |
| 8-25 | 色補正無効印刷 | 67 |
| 8-26 | バージョン表示 | 68 |
| 8-27 | ライセンス..... | 68 |
| 9 | PlatenEditTool について..... | 69 |
| 9-1 | PlatenEditTool による新規プラテン定義 | 69 |
| 9-2 | 起動方法 | 70 |
| 9-3 | PlatenEditTool の応用..... | 70 |

1 はじめに

本文書では簡易印刷用アプリケーション Layout and Print ツール（以下、Layout ツール）の操作方法についてご説明いたします。

Layout ツールには以下のような特徴があります。
本体付属のプラテンに合わせ簡単に画像の印刷が行えます。
白インクを使用した印刷が行えます。詳細は「ホワイトプリントガイド」をご参照ください。

プリンタ本体の取り扱い方法や、プラテンへのメディアの取り付け方法、インクの取り扱いについては、プリンタのマニュアルをご参照ください。

新規プラテンの定義については、Platen Edit Tool のマニュアルを参照してください。

尚、名称、デザインおよび仕様については予告なく変更になる可能性があります。

本書に記載されている Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

2 動作環境

本文書に対応する Layout ツールのバージョンは Ver.3.2.0 以降です。

Layout ツールをご利用になる際には、対応機種の Windows ドライバを前に導入済みであることが必要です。

対応する機種と Windows ドライバのバージョンは以下の通りです。

LayoutTool の使用環境は、対応ドライバの推奨環境に準じます。

| 機種 | バージョン | 白インク対応 |
|----------|---------|--------|
| VJ-404GT | 1.02 以降 | なし |
| VJ-405GT | 1.02 以降 | あり |

※本文中に白インク(ホワイト)を使用する記述がありますが「VJ-404GT」では対応していません。

対応している Windows のバージョンは以下の通りです。サービスパッチなどは最新を適用してください。

Windows Vista Service Pack 2以降 [32bit/64bit]

Windows 7 Service Pack 1以降 [32bit/64bit]

Windows 8/8.1 [32bit/64bit]

Windows 10 [32bit/64bit]

対応言語は以下の通りです。

| |
|-----|
| 日本語 |
| 英語 |
| 中国語 |
| 韓国語 |

注 記

OS毎に以下の制限事項があります。

× = 未対応、△ = 制限あり、○ = 制限なし

| | Windows | | | | 詳細 |
|--------------------|---------|---|-----|----|-----------------------------|
| | Vista | 7 | 8.1 | 10 | |
| PostScript フォント | × | × | ○ | ○ | 詳細は「8-13 テキストの挿入」を参照してください。 |
| PDF 画像ファイル | × | × | △ | ○ | 詳細は「3-2 特殊な画像」を参照してください。 |

3 取扱可能な画像フォーマット

3-1 一般的な画像

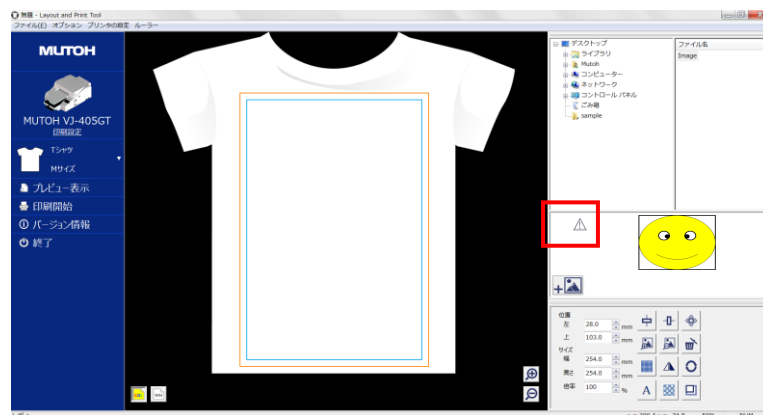
貼り付けることができる画像フォーマットは以下の通りです。
詳細については注記をご覧ください。

- PNG (.png) *1, *2
- ビットマップ (.bmp)
- JPEG (.jpg) *3
- TIFF (.tif) *2, *3

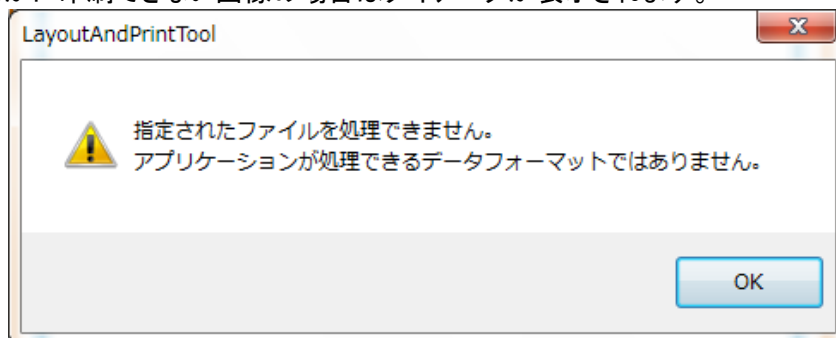
これらは画面右側のフォルダツリーと、プレビュー画面に表示されます。

注 記

- カラーデータは 24bit RGB カラーモデルでご利用ください。
- *1 Layout ツールの推奨フォーマットです。
- *2 カラーデータの他に透過データ(α チャンネルデータ)が指定できます。
- *3 CMYK カラーモデルのデータは正しく取り扱う事ができません。
画像のプレビューに右のマークが表示された画像フォーマットには
正式対応しておりません。
印刷に使用できないか、色が異なって印刷される場合があります。



明らかに印刷できない画像の場合はダイアログが表示されます。



この場合は PNG フォーマットに変換した上でご利用ください。

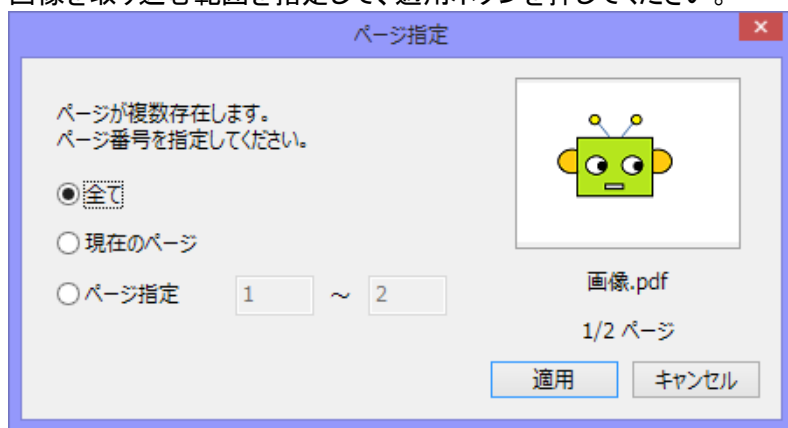
3-2 特殊な画像

Windows8.1/Windows10 では、ドラッグアンドドロップ操作により以下のフォーマットデータを貼り付けることができます。

PDF (.pdf)

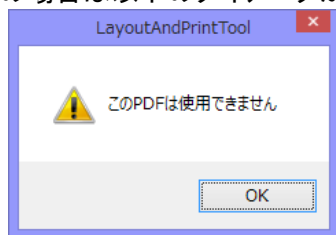
これらは画面右側のフォルダツリーと、プレビュー画面に表示されません。Windows のエクスプローラから操作してください。

複数のページが含まれる場合は以下の選択ダイアログが表示されます。
画像を取り込む範囲を指定して、適用ボタンを押してください。



注 記

- **Windows 8.1** ではフォントを含む PDF を扱う事ができません。
その場合は以下のダイアログが表示されます。



- 1ページ目に取り込みができないページがあった場合は上記のダイアログが表示されますが、取り込み開始後に取り扱う事ができないページがあった場合は該当ページの処理がスキップされます。
- 多数のページを取り込み指定した場合は以下にご注意ください。誤ってマニュアルなどの文書 PDF を取り込まないようにしてください。
 - 画像の取り込みが終わるまでは中断操作ができません。
 - メモリ不足で取り込みがエラーになる可能性があります。
- PDF を画像に変換する際に、画像の解像度が低下する場合があります。
PDF 変換前の画像が存在する場合は元の画像をご利用ください。
- カラープロファイルなどの埋め込みデータは使用されません。


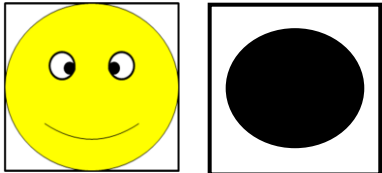
4 印刷方法について

本アプリケーションは、「カラー印刷」、「ホワイト印刷」、「ホワイト+カラー印刷」の3つの印刷方法を持っています。

それぞれ以下のように使い分けてください。

| | |
|------------|---|
| カラー印刷 | ホワイトまたは淡色の素材に印刷する時に使用します。 |
| ホワイト印刷 | 色が濃い素材に印刷する場合に使用します。 |
| ホワイト+カラー印刷 | 色が濃い素材にカラー印刷する場合に使用します。 ホワイトインクで下地印刷を行い、続けて自動でカラー印刷も行ないます。 |

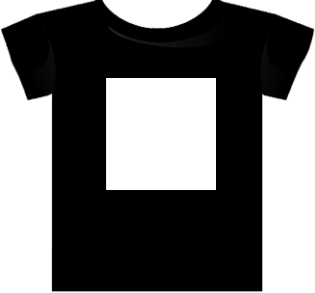
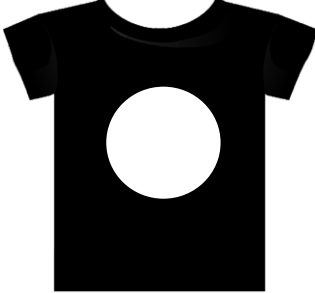
ホワイト印刷は、ホワイトインク対応のプリンタとの組み合わせの場合のみ使用できます。
ホワイト印刷は元の画像データによって印刷結果が異なります。

| | |
|------------|---|
| 一般的なデータ | BMP, JPEG, TIFF, PNG (透明色を含まない画像)  |
| 透明色を扱えるデータ | TIFF, PNG のうち、透明色データを含む画像  画像の他に、透明、不透明を表すデータが含まれる。 |

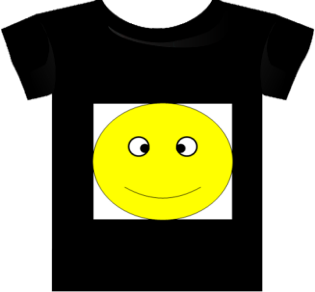

編集画面表示



ホワイト印刷の結果

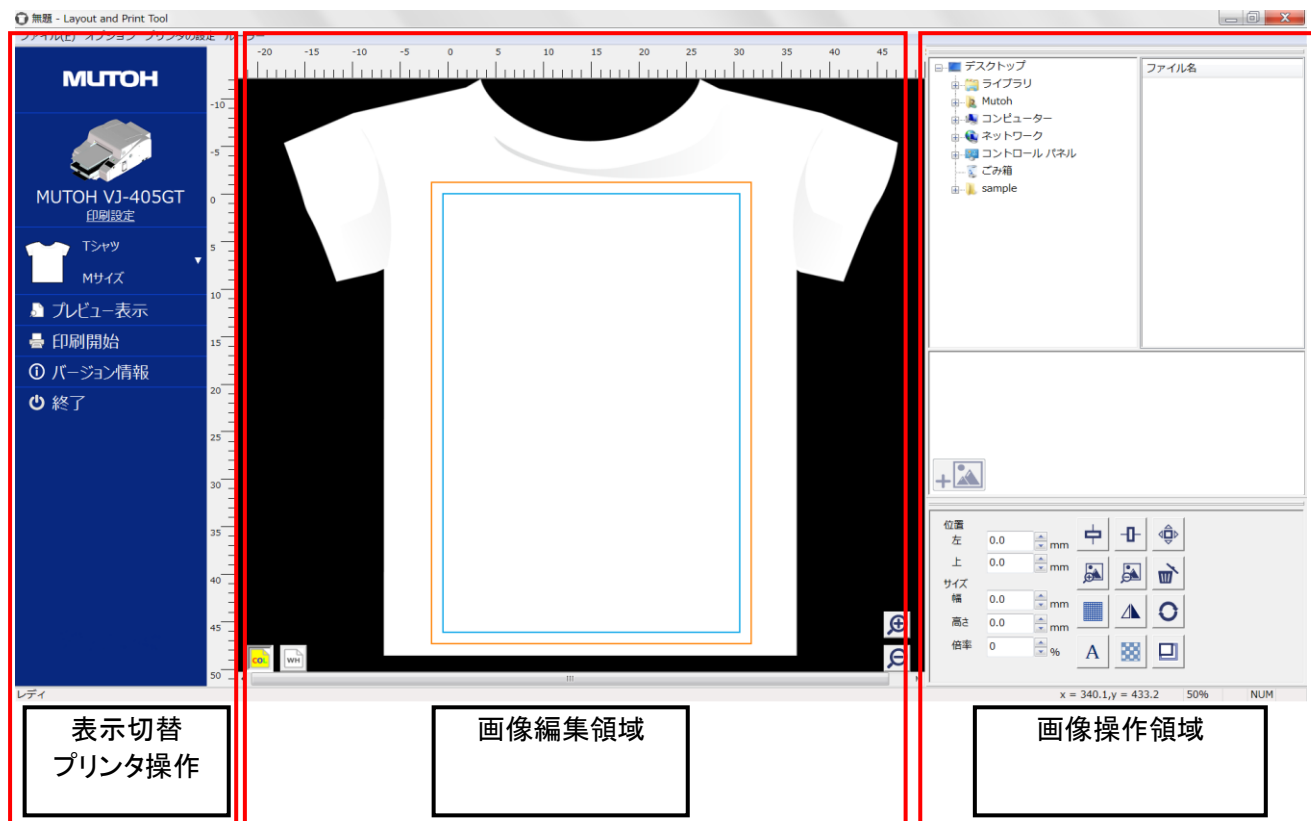
| 一般的なデータの印刷結果 | 透明色を扱えるデータの印刷結果 |
|---|--|
|  |  |

ホワイト+カラー印刷の結果

| 一般的なデータの印刷結果 | 透明色を扱えるデータの印刷結果 |
|--|---|
|  |  |

5 操作画面について

操作画面は以下のようになっています。
詳細については以降のページをご参照ください。



表示切替、プリント操作

プリンタドライバの設定の呼び出しや、プラテンの選択。
プレビューや、印刷の開始を行います。

画像編集領域

貼り付けた画像を表示します。
プレビュー表示兼用です。

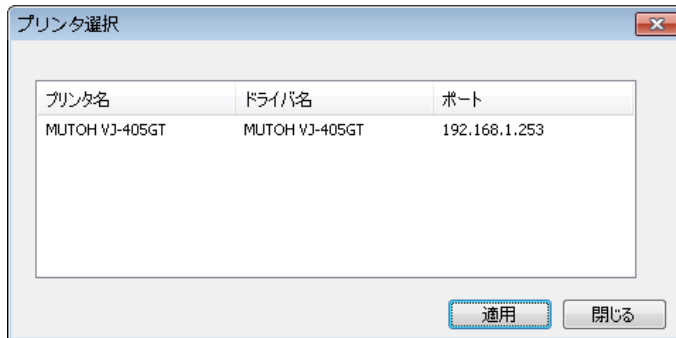
画像操作領域

画像の貼り付け操作や、表示サイズや位置を変更できます。

6 基本操作方法

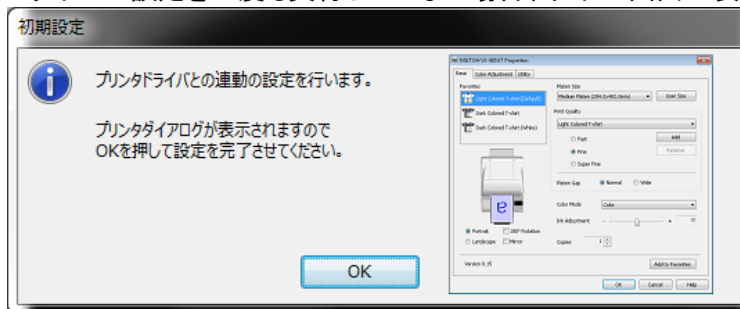
6-1 初回起動

起動時にプリンタドライバを選択する為、本アプリケーションの初回起動以前に対応したプリンタドライバがインストールされている必要があります。

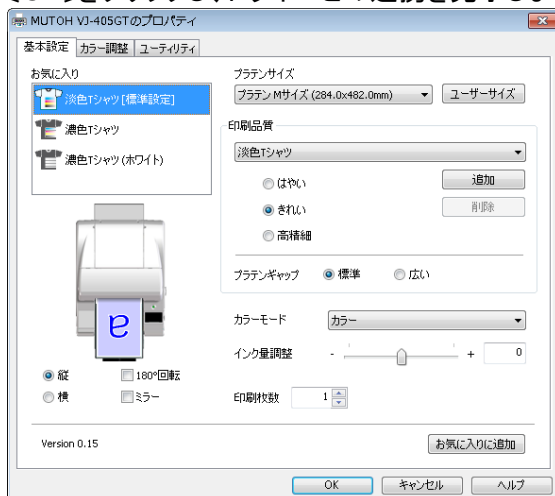


※次回起動時以降は、前回使用したドライバが選択されます。

ドライバの設定を一度も実行していない場合、以下の画面が表示されます。

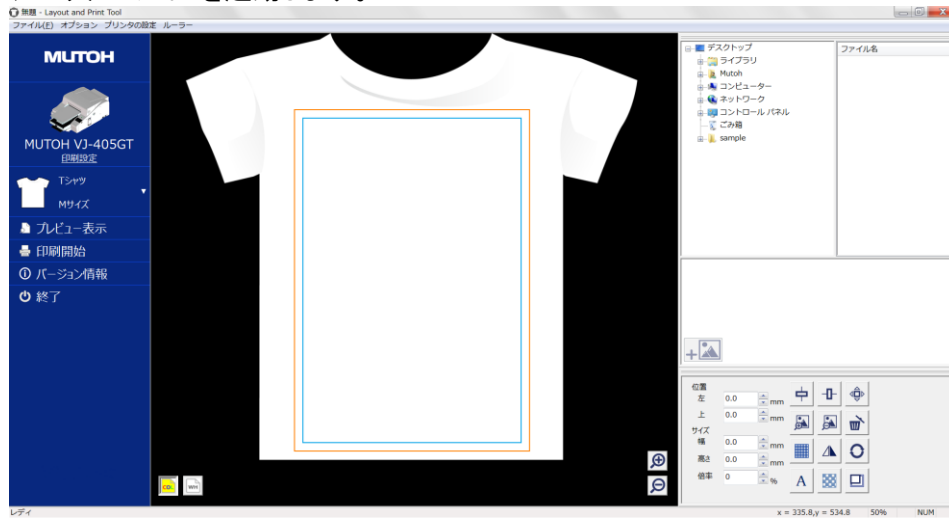


[OK]をクリックすると、続いてプリンタのプロパティが開きます。
[OK]をクリックし、ドライバとの連携を完了します。

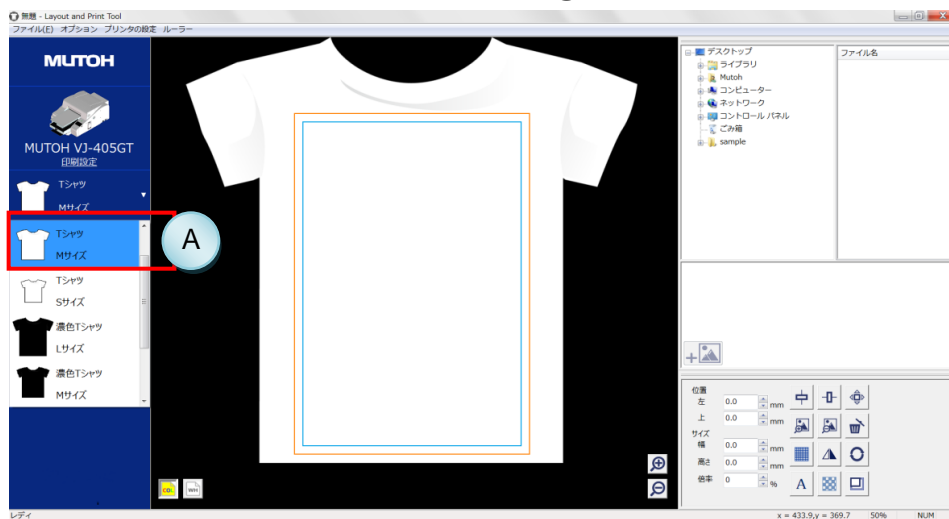


6-2 カラー印刷

アプリケーションを起動します。



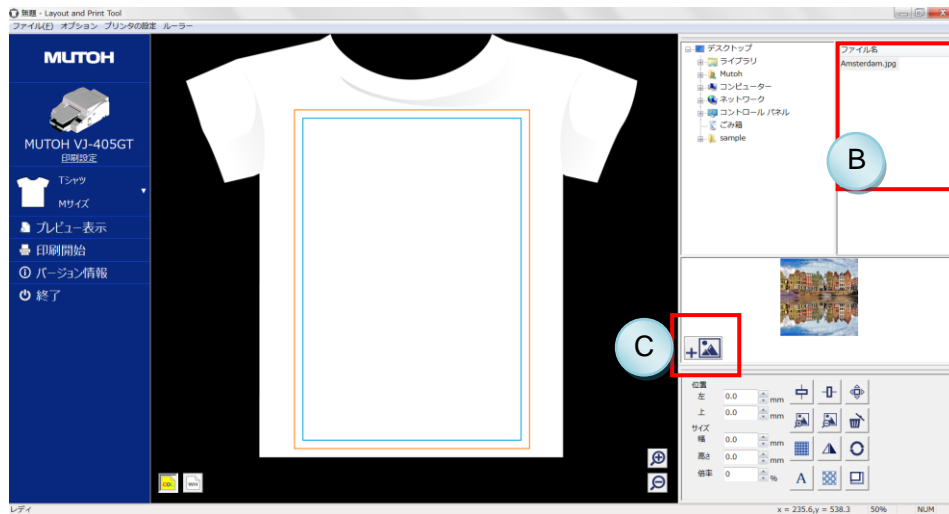
印刷に使用するプラテンをサイズ選択します。①



注 記

- Platen Edit Tool でプラテンを作成した場合は、一度 Layout ツールの再起動が必要です。

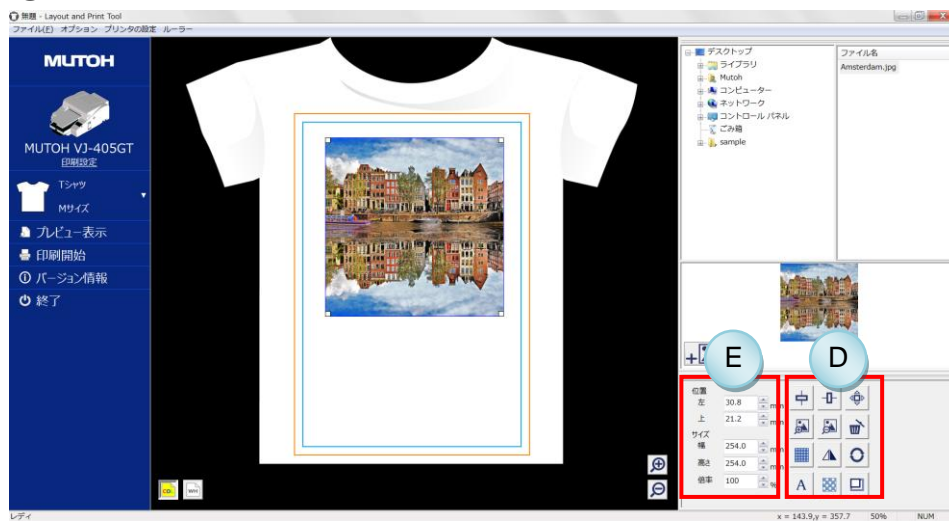
使用する画像を選択します。⑥でファイルを選択、⑦ボタンで画像を貼り付けます。



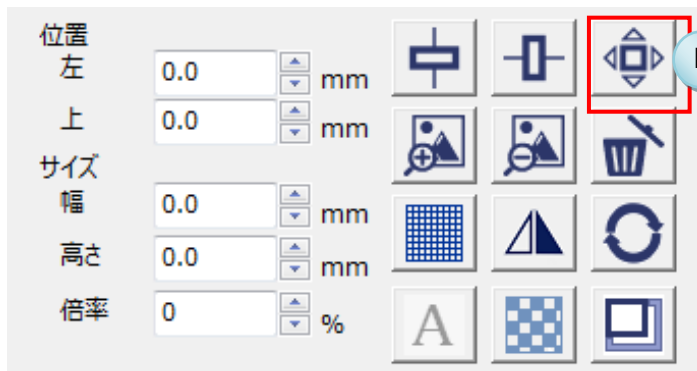
貼り付けた画像をマウスで好みの位置へ移動してください。

⑧の「センター配置」操作ボタンが使用できます。

⑨で表示位置を直接設定する事もできます。



1枚の画像の場合はⒻのボタンを押してください。中央に横幅をぴったり合わせて配置できます。

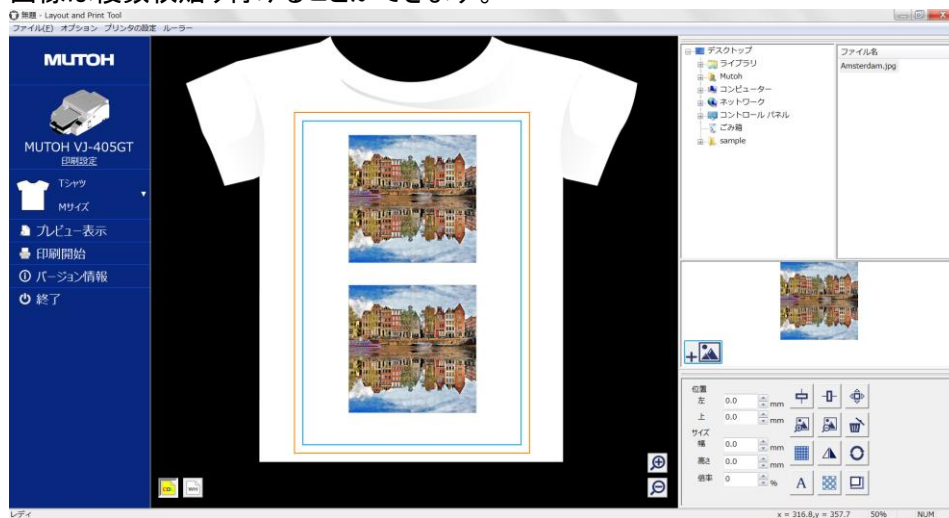


詳細は「機能の詳細」の項目をご参照ください。

注 記

- 画像を貼り付けた直後は、その画像が操作の対象になっています。
- 画像以外をクリックすると、上記のⒹ,Ⓔの操作対象からはずれます。
操作できない場合は画像をクリックしてから操作しなおしてください。

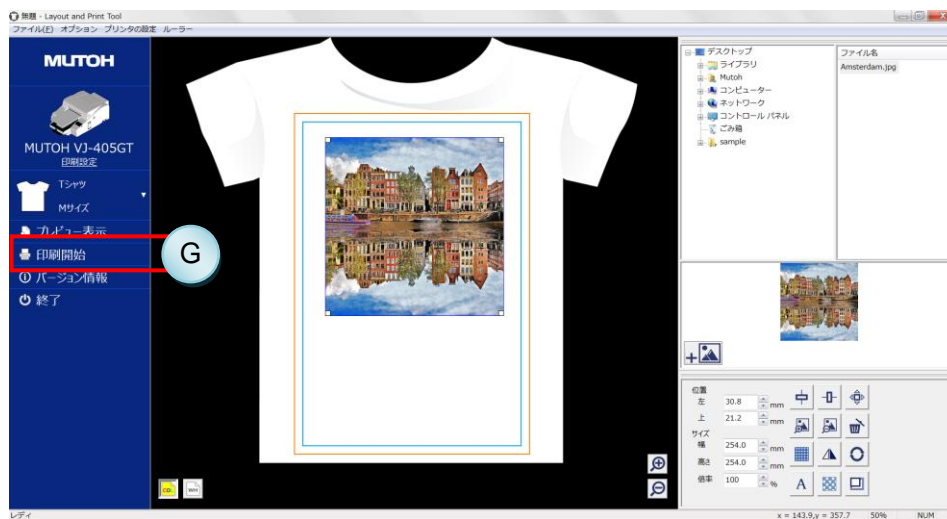
画像は複数枚貼り付けることができます。



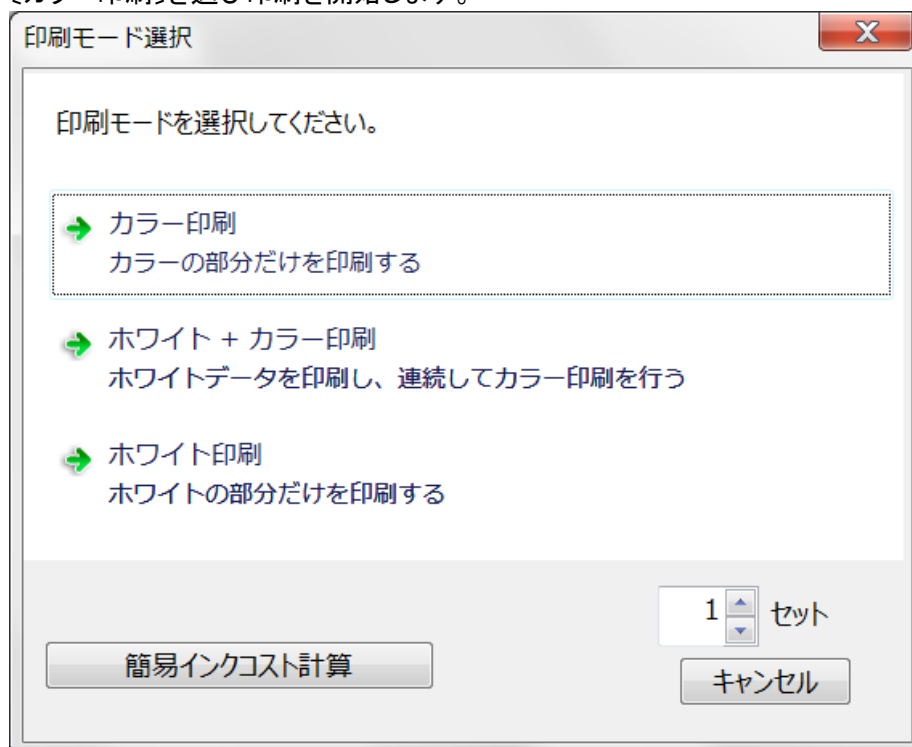
注 記

- 貼り付け可能な画像の枚数は、ご利用の PC に依存します。
- 大量の画像や、非常に大きな画像を貼り付けた場合、操作や印刷動作が遅くなる場合があります。

印刷したいデータが完成したら、**G** ボタンで印刷画面を表示します。



[カラー印刷]を選び印刷を開始します。



6-3 印刷画質の変更

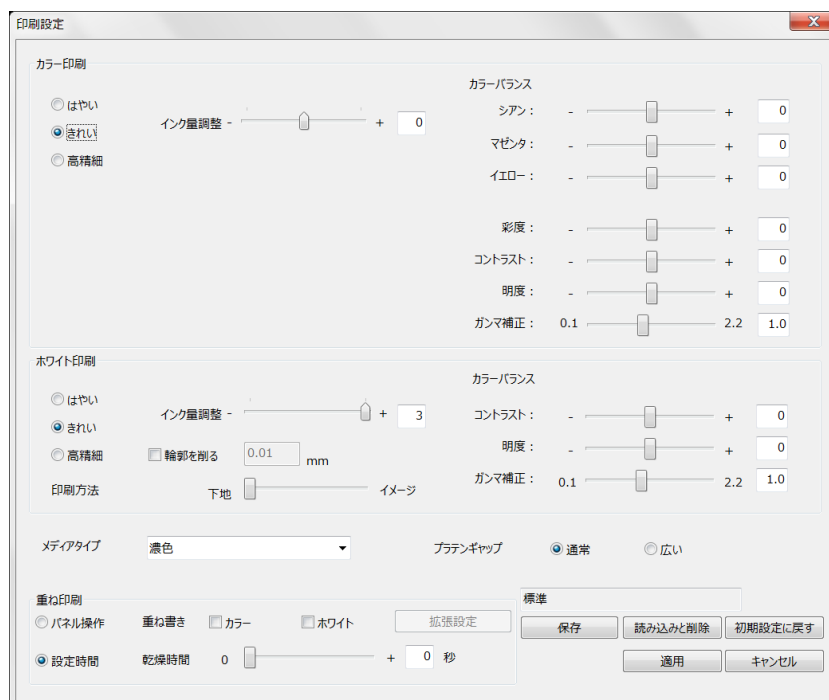
印刷時の画質を変更する場合は、印刷設定を呼び出します。

〔印刷設定〕をクリックします。①



作画設定画面を表示します。

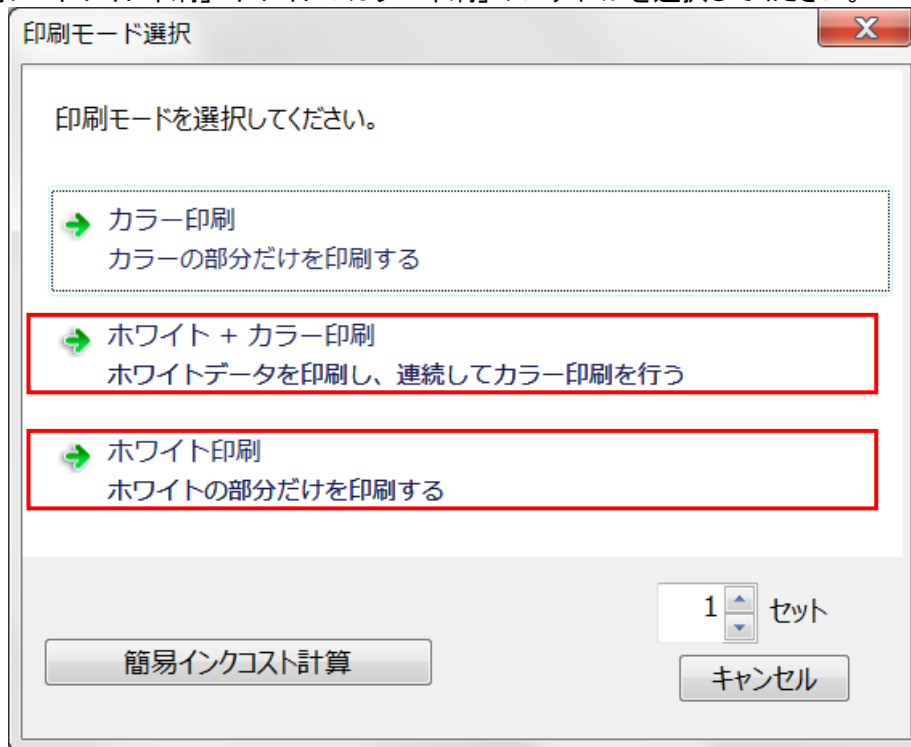
カラー、ホワイトの画質、インク量、カラーバランス等を個別に設定できます。



6-4 ホワイト印刷

用意した画像によって作業手順が異なりますが、基本的にはホワイト印刷もカラー印刷の手順に従って作業を行います。

印刷時に「ホワイト印刷」「ホワイト+カラー印刷」のいずれかを選択してください。



詳細は「ホワイト印刷ガイド」を参照してください。

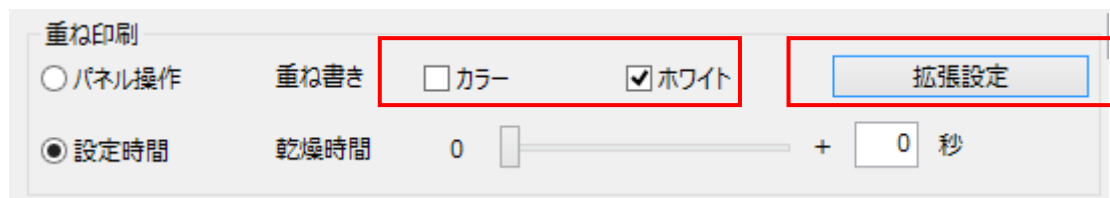
注 記

- ホワイト印刷データも、印刷までの間はカラー表示します。

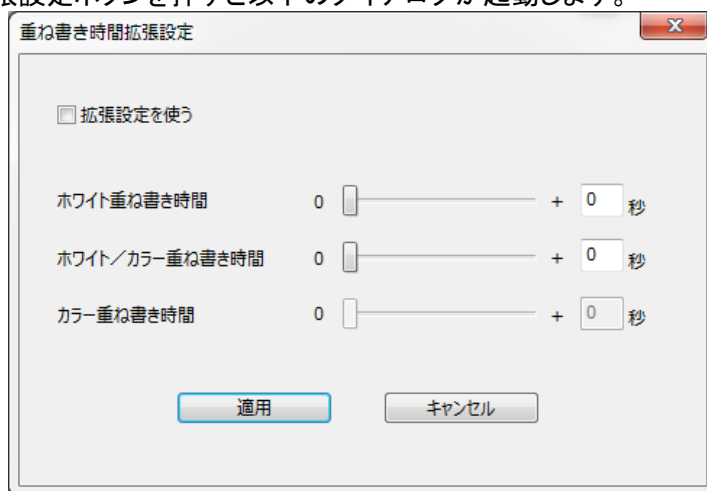
6-5 重ね印刷の乾燥時間

カラー又はホワイト印刷の“重ね書き設定”が有効な場合、乾燥時間を個別指定する事ができます。

印刷設定画面で、カラー又はホワイトの重ね書きを有効にすると、拡張設定ボタンが有効に切り替わります。

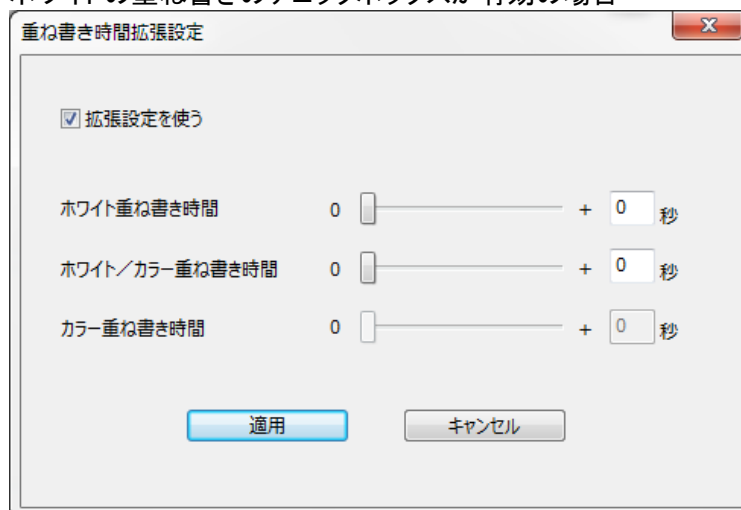


拡張設定ボタンを押すと以下のダイアログが起動します。



”拡張設定を使う”のチェックボックスを有効にし、スライダー、又はダイアログボックスに数値を設定してください。

ホワイトの重ね書きのチェックボックスが有効の場合



カラーの重ね書き設定が有効な場合は、カラーの重ね書き時間も指定可能です。

印刷設定画面で重ね書きのチェックボックスが外された場合、拡張設定ボタンは無効になり、拡張設定を使うのチェックボックスも連動して無効になります。

重ね印刷

☐ パネル操作 重ね書き ☐ カラー ☐ ホワイト 拡張設定

☒ 設定時間 乾燥時間 0 + 30 秒

注 記

ホワイต์＋カラー印刷で、ホワイต์又はカラーの重ね書きが不要の場合は拡張設定を使用せず、スライダーの値をそのままご利用ください。

重ね印刷

☐ パネル操作 重ね書き ☐ カラー ☐ ホワイト 拡張設定

☒ 設定時間 乾燥時間 0 + 30 秒

注 記

乾燥時間のスライダー設定は、最大 300 秒ですが、ダイアログに直接入力すると、600 秒まで指定可能です。

スライダー入力の場合の最大

重ね印刷

☐ パネル操作 重ね書き ☐ カラー ☐ ホワイト 拡張設定

☒ 設定時間 乾燥時間 0 + 300 秒

ダイアログ入力の場合の最大値

重ね印刷

☐ パネル操作 重ね書き ☐ カラー ☐ ホワイト 拡張設定

☒ 設定時間 乾燥時間 0 + 600 秒

7 テスト印刷

新しいメディアを使用する前に、インク量調整印刷を使用する事で好みの画質やインク量を確認する事ができます。

調整印刷結果の判断方法は 7-5 調整印刷の見方 を参照してください。

調整用に以下のメディアに対応しています。

| | VJ-404GT | VJ-405GT |
|-------------------|----------|----------|
| 淡色布地 | ○ | ○ |
| 濃色布地(ホワイト調整用) | - | ○ |
| 濃色布地(ホワイト+カラー調整用) | - | ○ |
| 淡色ポリエステル | ○ | ○ |

注 記

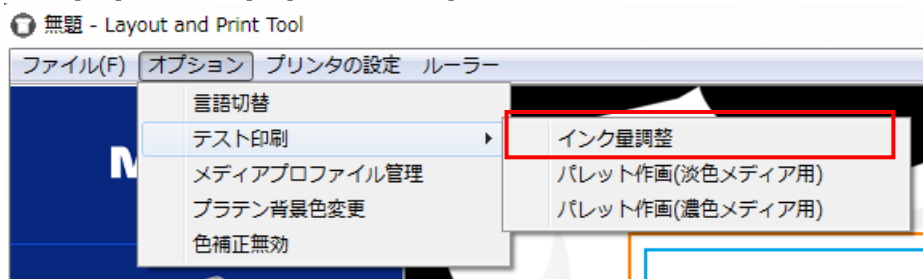
この結果を繰り返し使用する為に、名前をつけて保存する事ができます。

8-17 作画設定画面 の”保存“の項目を参照してください。

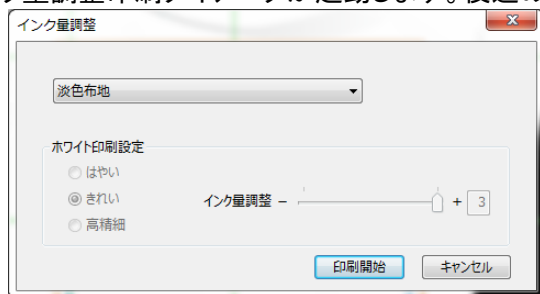
7-1 インク量調整

1). インク量調整の起動

[オプション] > [テスト印刷] > [インク量調整] から行います。



インク量調整印刷ダイアログが起動します。後述の調整の流れに従い操作を行ってください。



注 記

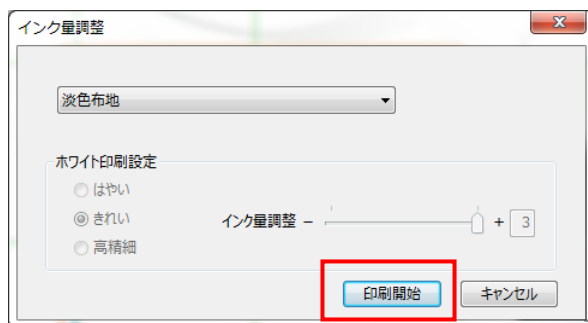
- 濃色布地（ホワイト＋カラー調整用）のみ、ホワイト印刷後にパネルでのセット操作が必要です。ダイアログの表示に従ってください。
- インク量調整の作画サイズは 266mm x 120mm です。プラテンは M サイズ以上のものを使用してください。全ての作画モードとインク濃度で作画します。メディアによってはプラテンまで染み出す可能性があります。
作画後にプラテンが汚れた場合はふき取ってからご使用ください。

2). カラーインク調整

淡色布地

淡色ポリエステル

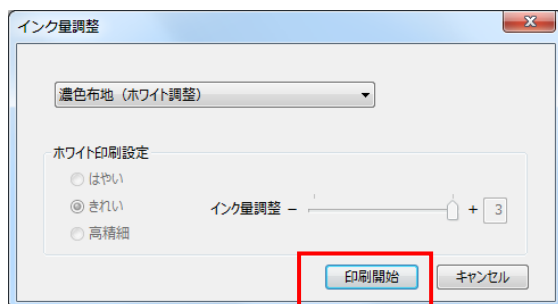
- ・調整印字を実行します。



- ・得られた結果から、メディアに使用する作画モード(きれい、はやい、高精細)と、インク濃度を決定します。
- ・該当メディアを使用する場合は、この値を設定します。

3). ホワイト印刷

濃色布地（ホワイト調整用）印字を実行します。

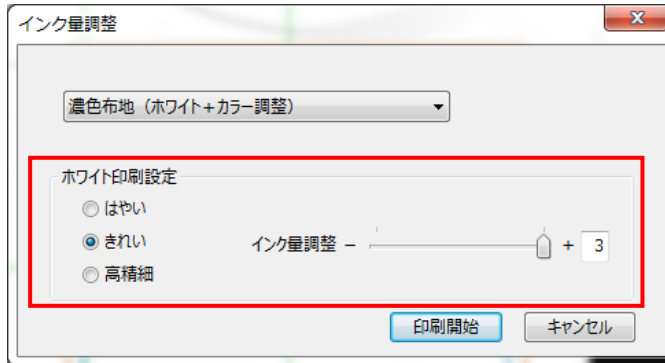


- ・ホワイト用の作画モードとインク濃度が得られます。
この結果を、濃色布地（ホワイト＋カラー調整用）画面に設定します。
- ・該当メディアを使用する場合は、この値を設定します。

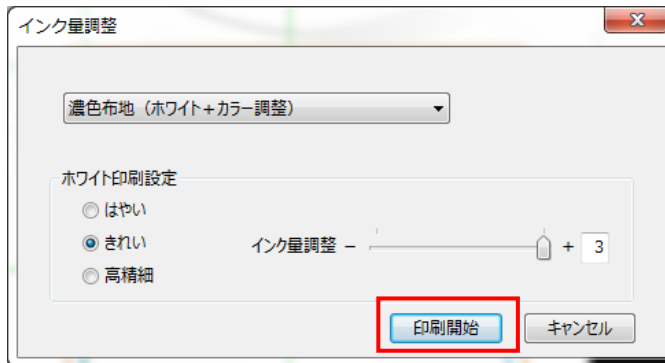
4). ホワイト+カラー印刷

濃色布地(ホワイト+カラー調整用)を選択します。

ホワイト印刷の結果を、濃色布地(ホワイト+カラー調整用)画面に設定します。



濃色布地(ホワイト調整用)印字を実行します。



- ・ホワイトの上にカラー印刷する時の作画モードとインク濃度が得られます。
- ・この2つの結果から、メディアに使用する作画モードとインク濃度を指定します。
- ・該当メディアを使用する場合は、この値を設定します。

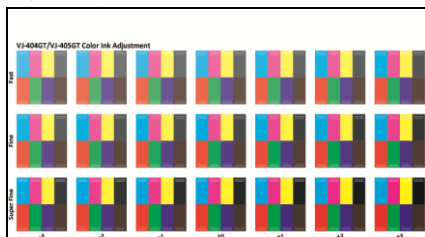
5). 調整印刷の見方

印刷結果は以下ようになります。

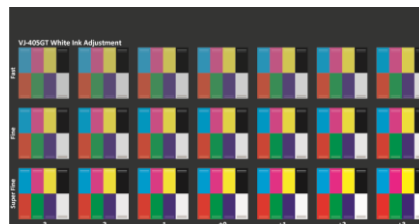
これらの中から、メディアに対して最適と思われる作画モードとインク量を選択してください。

印刷イメージ

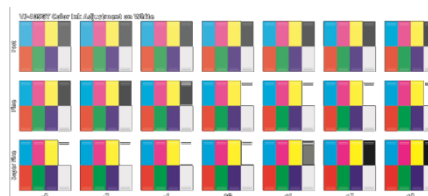
淡色布地
淡色ポリエステル



濃色布地(ホワイト調整)



濃色布地(ホワイト+カラー調整)



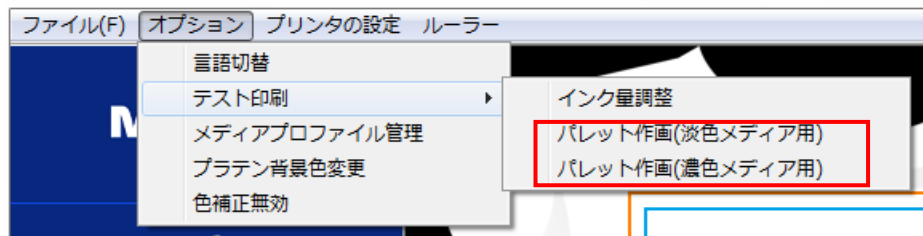
注 記

最適なインク量を判定する時に、メディアの裏面の状態もご確認ください。

7-2 カラーパレット

調整印刷後にパレット作画を行う事で、RGB値と実際の印刷色の確認が行えます。
メディアに適したパレットを選択してください。

● 無題 - Layout and Print Tool

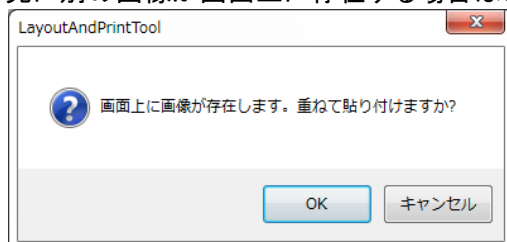


選択後、編集領域に画像が挿入されます。
通常の手順で印刷してください。



注 記

- 画像サイズは、プラテンMサイズに合わせてあります。サイズを調整したい場合は画像サイズを調整してください。
- パレットと他の画像を同時に印刷する事もできます。
- 先に別の画像が画面上に存在する場合は、以下の確認ダイアログが表示されます。

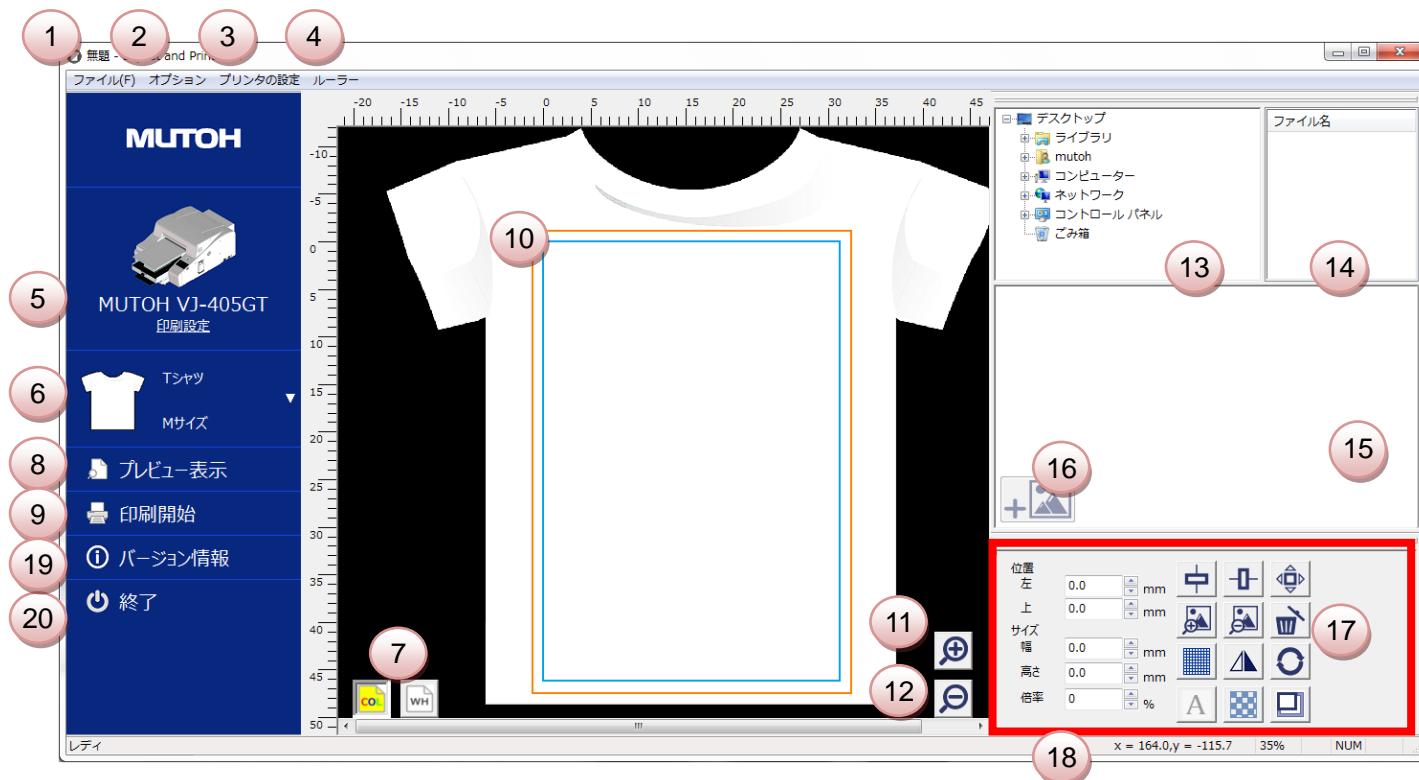


- 淡色パレットと濃色パレットではフォントとフォント色が異なります。

8 機能説明

8-1 メイン画面

アプリケーションを起動すると以下の画面が表示されます。

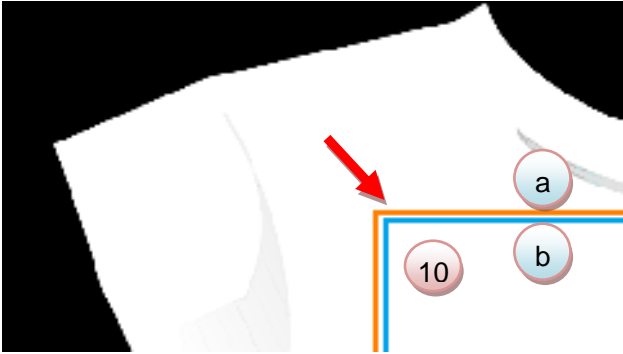


| | | |
|---|----------------------|---|
| ① | ファイルメニュー | 新規作成、編集ファイルの読み込み、保存を行います。 |
| ② | オプションメニュー | メニューに「言語切替」を表示します。 |
| ③ | プリンタの設定 | メニューに「プリンタの選択」を表示します。 |
| ④ | ルーラーメニュー | ルーラーの表示非表示と、補助線の表示と削除を行います。 |
| ⑤ | 作画設定を行う | 「作画設定」画面を表示します。 |
| ⑥ | 治具を切り替える | リストより希望するプラテンを選択します。 |
| ⑦ | ホワイト・カラー表示を切り替える | ホワイト印刷、またはカラー印刷で専用の表示に切り替えます。 |
| ⑧ | プレビューモード・編集モードを切り替える | プレビュー、または編集の表示を切り替えます。 |
| ⑨ | 指定されたプリンタで印刷を開始する | 印刷を行います。 |
| ⑩ | プラテン外枠・印刷領域 | プラテン、印刷の各範囲をオレンジ、水色で表示します。 |
| ⑪ | 編集領域を拡大 | 編集領域表示を拡大します。 |
| ⑫ | 編集領域を縮小 | 編集領域表示を縮小します。 |
| ⑬ | フォルダ ツリー表示 | 編集に使用する画像ファイルを選択するフォルダを表示します。 |
| ⑭ | 画像ファイル一覧 | 編集に使用する画像ファイルを選択するファイルを表示します。 |
| ⑮ | プレビュー・テキスト編集 | ⑬⑭で選択した画像ファイルのプレビュー表示、またはテキスト編集ウィンドウを表示します。 |
| ⑯ | この画像を使用する | ⑬⑭で選択した画像ファイルを印刷領域に表示します。テキスト挿入でも使用します。 |

| | | |
|---|---------------|---|
| ⑰ | 編集ツール | 編集に使用する各種ツールを表示します。 後述の 「8-11 画像の配置」 「8-12 画像とテキストの切り替え」 「8-13 テキストの挿入」 「8-15 画像の中の一部の色を透明にする」 で詳しく説明します。 |
| ⑱ | 補足情報 | マウス位置情報、編集領域の縮小率を表示します。 |
| ⑲ | バージョン表示 | バージョン情報を表示します。 |
| ⑳ | アプリケーションを終了する | Layout ツールを終了します。 |

8-2 プラテン外枠・印刷領域

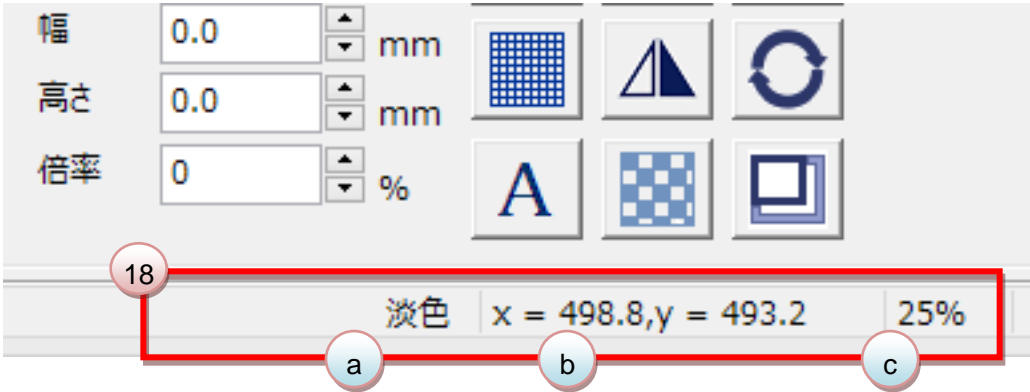
⑩の「プラテン外枠・印刷」領域」ではプラテンの外枠をオレンジで、印刷領域を水色でそれぞれ表示します。印刷領域（水色の枠）の左上が画面上のデータの原点です。



| | | | |
|---|---|---------------|--------------------|
| ⑩ | a | プラテン外枠 (オレンジ) | プラテンの外枠の位置を表示します。 |
| | b | 印刷領域 (水色) | プリンタの印刷可能領域を表示します。 |

8-3 補足情報

メイン画面右下に⑮補足情報として「マウス位置情報」「編集領域の縮小率」を表示します。



※単位は mm

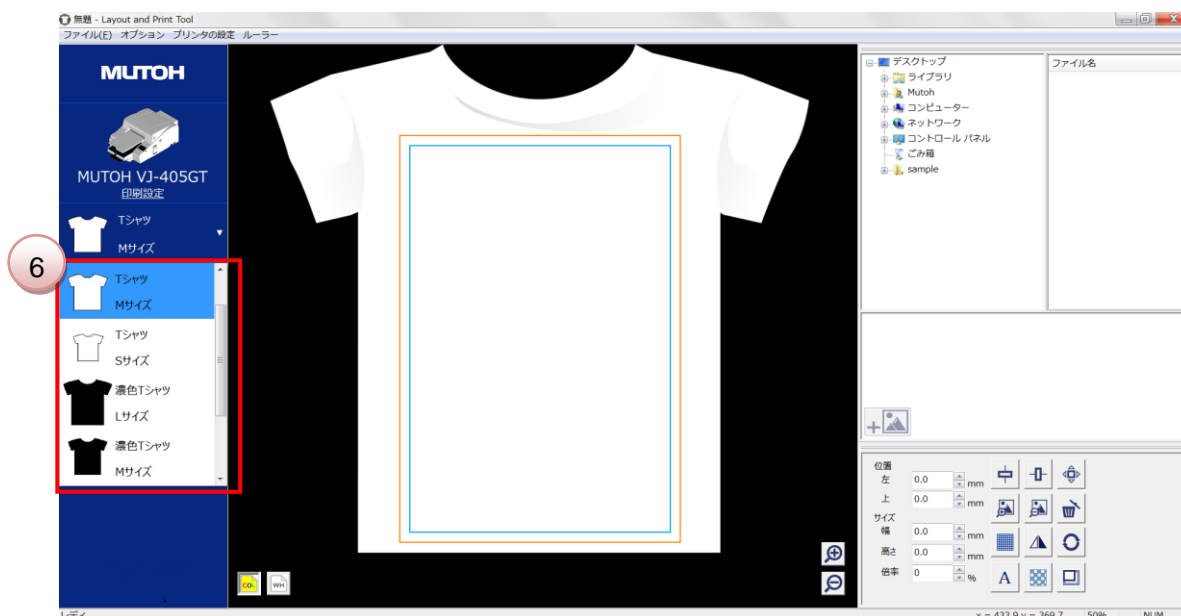
| | | | |
|---|---|----------|----------------------------------|
| ⑮ | a | メディアタイプ | 印刷設定で選択中のメディアタイプを表示します。*1 |
| | b | マウス位置情報 | プリンタの印刷可能領域(水色の線)の左上からの距離を表示します。 |
| | c | 編集領域の縮小率 | 現在の編集画面の縮小率を表示します。 |

注 記

*1 淡色用プラテン時に濃色プロファイルが設定されている場合や、濃色用プラテン時に淡色プロファイルが選択されている場合は強調表示(赤い太字)されます。
メディアプロファイル管理機能で追加したプロファイルはチェック対象となりません。

プラテンの選択

⑥の[治具を切り替える]をクリックし表示されるリストから、プリンタに設定したプラテンを選択します。



プラテンのアイコンは、プリンタに正対したときの、Tシャツの設置方向を示しています。アプリケーション起動時は、アプリケーションを終了した時に選択していたプラテンの状態で起動します。

対応するプラテンの種類は以下の通りです。

| 治具名 | サイズ (mm) | |
|-------------|----------|-----|
| | 横 | 縦 |
| T シャツ L サイズ | 380 | 560 |
| T シャツ M サイズ | 310 | 460 |
| T シャツ S サイズ | 230 | 330 |

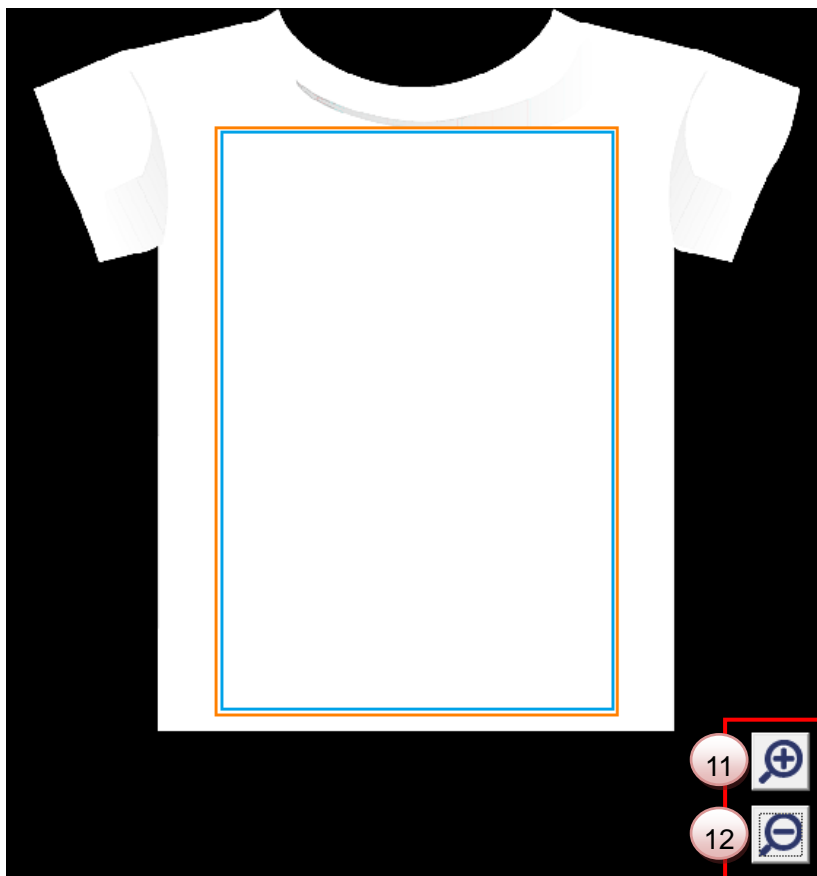
プラテンのアイコンは、プリンタに正対したときの、Tシャツの設置方向を示しています。アプリケーション起動時は、アプリケーションを終了した時に選択していたプラテンの状態で起動します。

注 記

- Platen Edit Tool を使用して新規にプラテンの定義ができます。

8-4 編集領域の拡大縮小

編集領域の拡大縮小表示は⑪の〔編集領域を拡大〕⑫の〔編集領域を縮小〕をクリックします。



それぞれ＋、－のボタンで編集領域の拡大、縮小が可能です。

切り替え単位は

「25%, 30%, 35%, 40%, 45%, 50%, 75%, 100%」で表示します。

8-5 画像の挿入

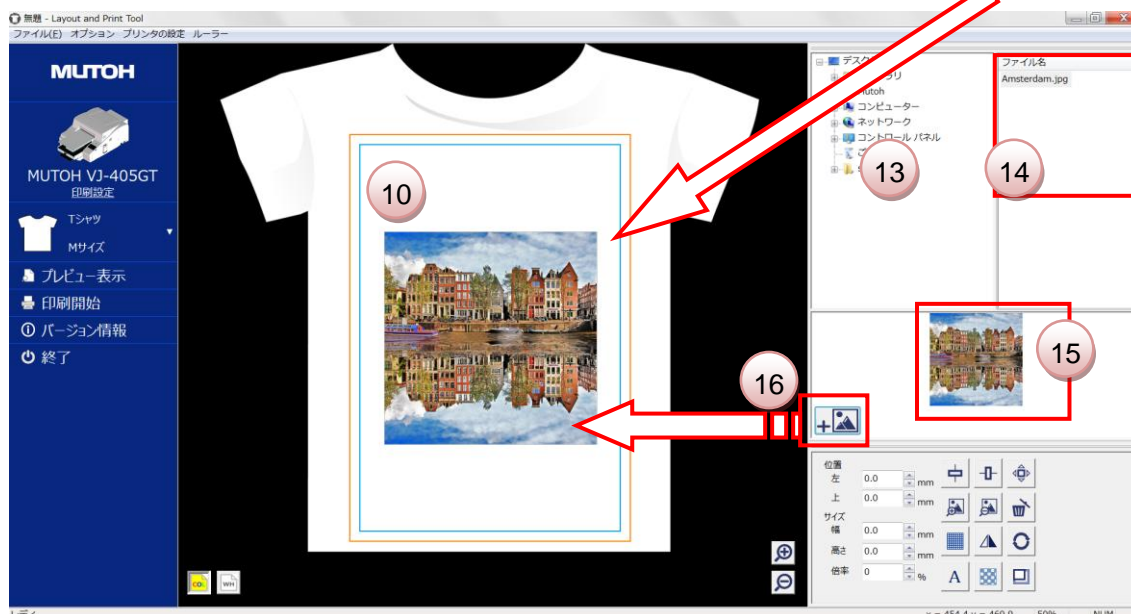
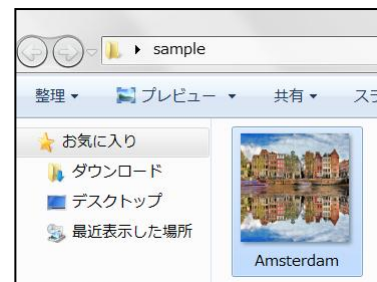
⑩の「プラテン外枠/印刷」領域の印刷領域に画像を表示する方法を説明します。

まず⑬のフォルダから画像ファイルを選択します。

選択した画像ファイルは⑭の「画像ファイル一覧」に表示されます。

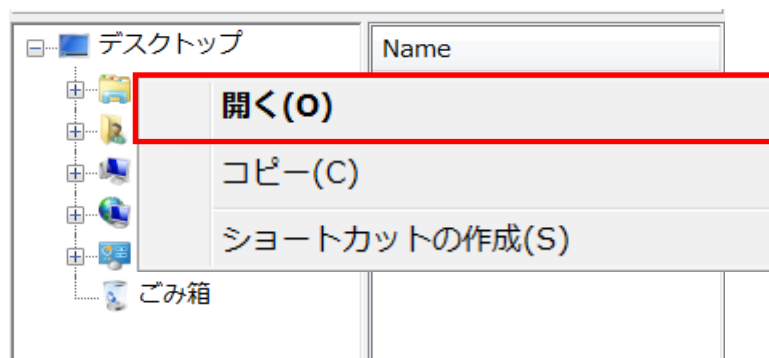
画像ファイルを編集画面に挿入するには以下の方法あります。

1. ⑭「画像ファイル一覧」よりファイル名をダブルクリック
2. ⑮「プレビュー」よりプレビュー画像をマウスでドラッグ & ドロップ
3. ⑯「この画像を使用する」をクリック
4. 直接画像をドラッグ & ドロップ (複数枚の選択も可能)



⑫のフォルダ ツリーではマウス右クリック「開く」で「エクスプローラー」を表示します。

画像ファイルを編集する際に使用してください。



8-6 画像の拡大縮小、移動

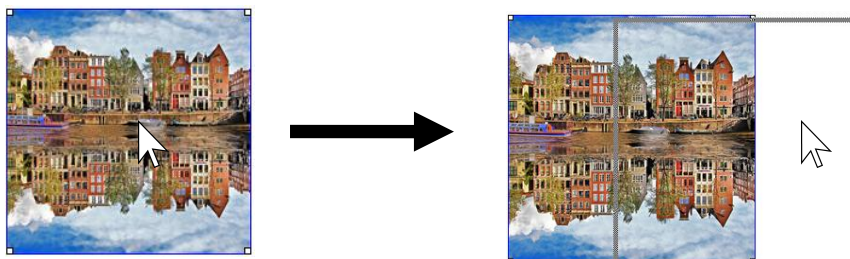
印刷領域に挿入された画像は単一の画像、または複数の画像がある場合は最後にマウスでクリックした画像(最前面の画像)の四隅にポインタを表示し選択状態であることを表示します。



四隅のポインタをドラッグしたままマウスを動かすと画像の周りに複写を表示します。複写表示に従って画像の拡大、縮小が行えます。



四隅のポインタ以外をマウスでドラッグしたままマウスを動かせば画像を移動できます。この場合も複写表示に従って画像を移動させてください。



8-7 画像の編集メニュー

印刷領域に表示中の画像をマウスで選択、右クリックより編集メニューを表示します。単一画像表示の場合には削除、100%表示、複数画像表示の場合にはそれに加えて最前面、最背面への移動ができます。



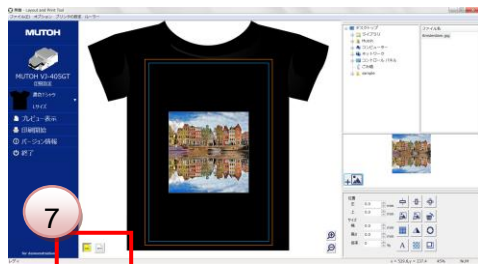
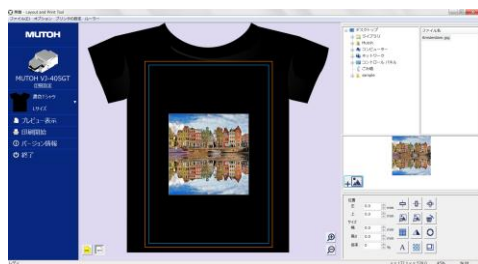

| | | |
|---|---------|---|
| a | 削除 | 選択された画像を削除します。 |
| b | 100%で表示 | 縦横サイズを拡大縮小した場合に元のサイズに戻します。 |
| c | 最前面へ移動 | 画像が複数ある場合に有効になります。 印刷領域に複数ある各画像の最前面へ選択された画像を移動します。 |
| d | 最背面へ移動 | 画像が複数ある場合に有効になります。 印刷領域に複数ある各画像の最背面へ選択された画像を移動します。 |

8-8 カラーデータ表示、ホワイトデータ表示

画像ファイルは「カラーデータ表示」、「ホワイトデータ表示」で編集します。

表示切り替えは⑦の[ホワイト・カラー表示を切り替える]で行います。

「カラーデータ表示」で編集したデータはカラーデータとして「カラー印刷」、
「ホワイトデータ表示」で編集したデータはホワイトデータとして「ホワイト印刷」の対象となります。
両方に画像を割り付けて編集した場合は「ホワイト+カラー印刷」の対象になります。

| 編集表示 | データ | 印刷方法 |
|---|--|--------------|
|  | カラーデータ  | 「カラー印刷」 |
|  | ホワイトデータ  | 「ホワイト印刷」 |
|  | ホワイトデータ  | 「ホワイト+カラー印刷」 |
|  | カラーデータ  | |

8-9 プレビューモード・編集モードの切り替え

⑧の「[プレビューモード・編集モードを切り替える]」クリックで表示を切り替えます。

一連の画像編集は編集モードで行いますが、「プラテン外枠・印刷領域」を非表示にして編集結果をプレビューで表示します。プレビュー表示中は画像編集を行えません。カラーとホワイトのプレビューの切替えは⑦のボタンを使用します。編集モードに戻す場合は再度⑧の「[プレビューモード・編集モードを切り替える]」をクリックしてください。

編集モード



プレビューモード

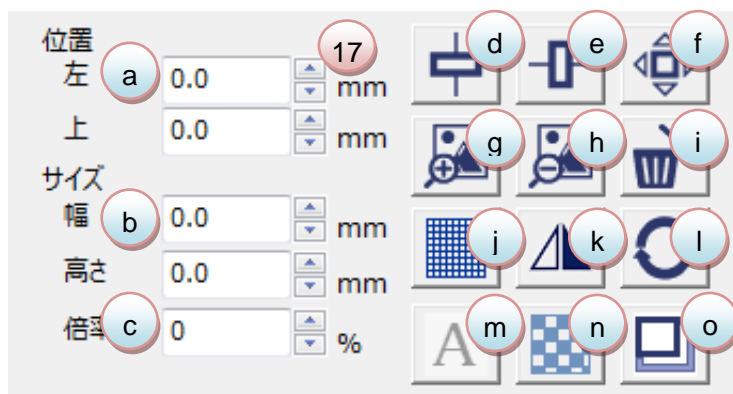


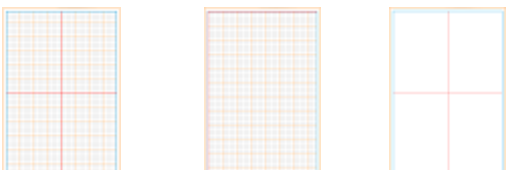
注 記

- ホワイト印刷のプレビューについては「ホワイトプリントガイド」を参照してください。

8-10 画像の配置

⑰の各編集ツールを使用して画像の配置が調整できます。
この画面で表示されている数値は実際に印刷される寸法と同じです。



| | | | |
|---|---|------------|---|
| ⑰ | a | 位置表示 | 選択中の画像の「左」「上」の位置を表示します。 直接数値を編集できます。 |
| | b | サイズ表示 | 選択中の画像の「幅」「横」サイズを表示します。 直接数値を編集できます。 |
| | c | スケール | 選択中の画像の縮尺を表示します。 直接数値を編集できます。 |
| | d | 垂直方向に中央配置 | 選択中の画像の位置を垂直方向に自動調整します。 |
| | e | 水平方向に中央配置 | 選択中の画像の位置を水平方向に自動調整します。 |
| | f | 最大サイズで中央配置 | 選択中の画像を最も大きく表示されるようにサイズを調整し、 画面中央に配置します。 |
| | g | 編集画面の拡大 | 編集画面を拡大します。 |
| | h | 編集画面の縮小 | 編集画面を縮小します。 |
| | i | 白紙に戻す | 配置した全ての画像を削除します。 確認画面が表示されます。 |
| | j | メッシュ | 印刷可能領域内にグリッド線を表示します。 3 パターンの表示をクリック毎に切り替えて表示します。  パターン 1 パターン 2 パターン 3 |
| | k | 水平方向へ反転 | 選択中の画像が水平方向に反転します。 |
| | l | 選択中の画像を回転 | 選択中の画像がクリック 1 回につき 90 度回転します。 |

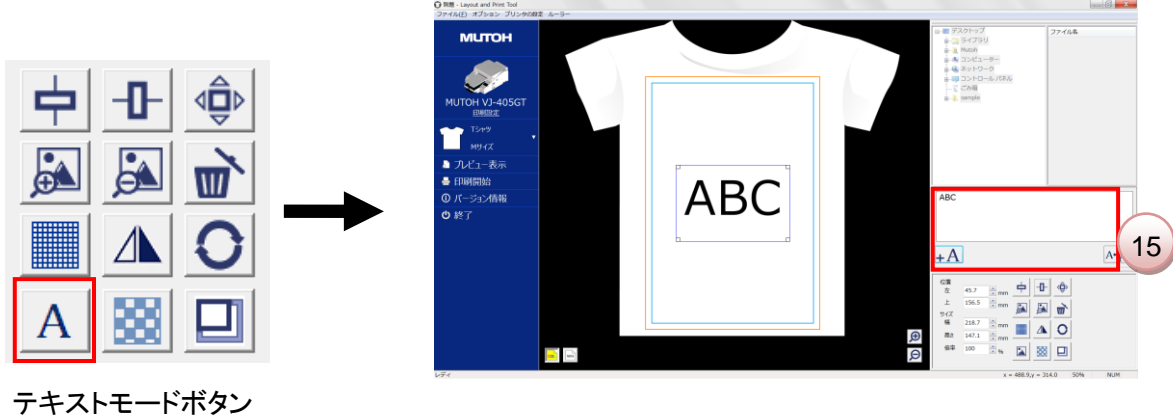
| | | | |
|---|---|--------------|--|
| ⑪ | m | 画像とテキストの切り替え | 画像のプレビューとテキスト編集の表示を切り替えます。 詳細は 8-12 「画像とテキストの切り替え」で説明します。 |
| | n | 透過色を設定 | 画像の一部の色を透過させます。 詳細は 8-15 「画像の中の一部の色を透明にする」で説明します。 |
| | o | トリミング | 選択中の画像の一部を指定し、選択箇所だけを表示します。 詳細は、8-16 「画像のトリミング」で説明します。 |

8-11 画像とテキストの切り替え

編集に使用するデータを画像およびテキストに変更できます。

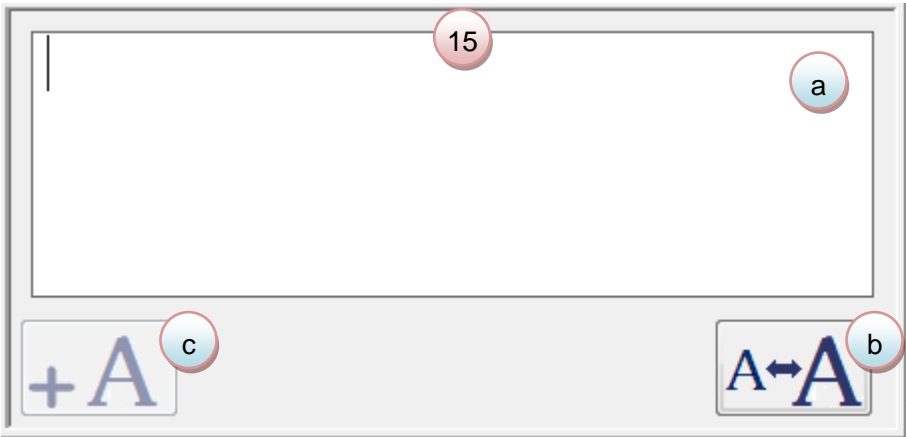
変更するには⑪の各編集ツールより[画像とテキストの切り替え]をクリックします。

クリックする度に[画像とテキストの切り替え]ボタン表示、⑮「プレビュー・テキスト編集」の表示が画像モード、テキストモードで交互に切り替わります。

| | |
|----------------|--|
| <p>画像モード</p> |  <p>画像モードボタン</p> |
| <p>テキストモード</p> |  <p>テキストモードボタン</p> |

8-12 テキストの挿入

「画像とテキストの切り替え」をクリックし「テキスト編集」を表示します。
テキスト入力、挿入、更新、フォント変更を行います。

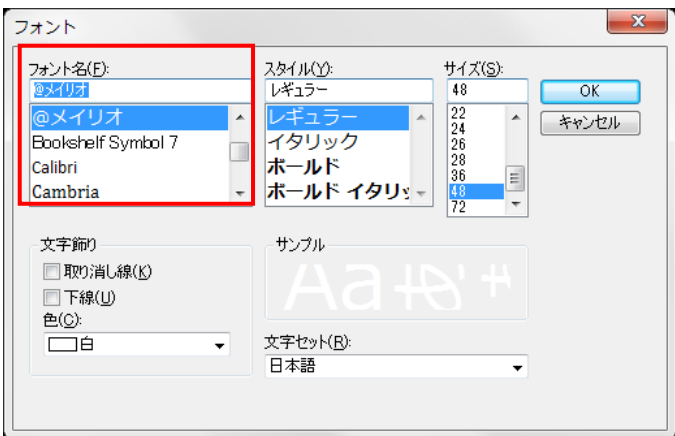


| | | | |
|---|---|----------|---|
| ⑮ | a | テキスト入力領域 | 任意のテキストをこの領域に入力します。 |
| | b | フォント設定 | クリックにより「フォント」ダイアログを表示します。 |
| | c | 挿入、更新 | テキストの印刷領域への挿入、印刷領域のテキストの更新を行います。テキストが入力されるとボタンが有効になります。 |

windows 標準フォント設定

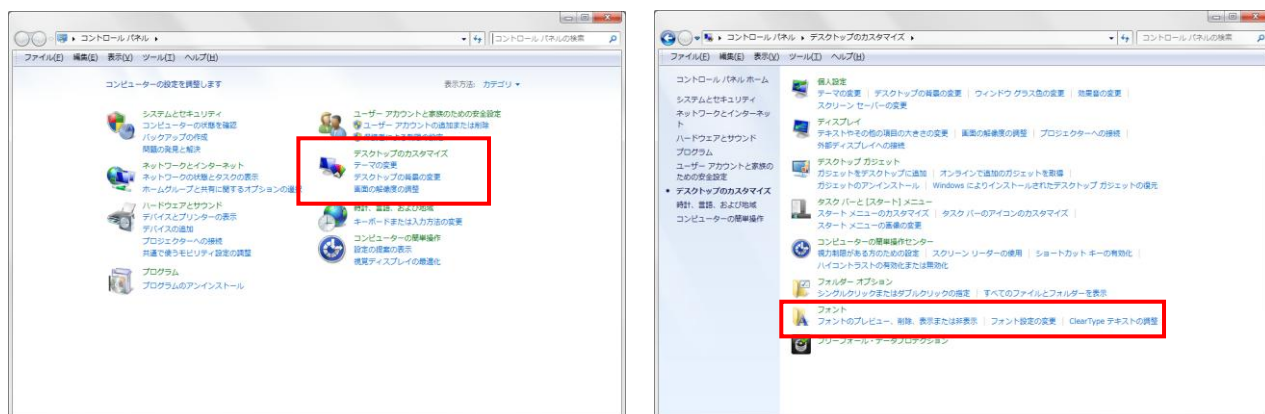
⑥の「フォント設定」クリックより「フォント」ダイアログを表示します。

使用可能な windows フォントを
「フォント名」に一覧表示します。



windows フォントに含まれているのに一覧中に表示がない場合は以下の手順で表示を行います。

「コントロールパネル」 → 「デスクトップのカスタマイズ」 → 「フォント」



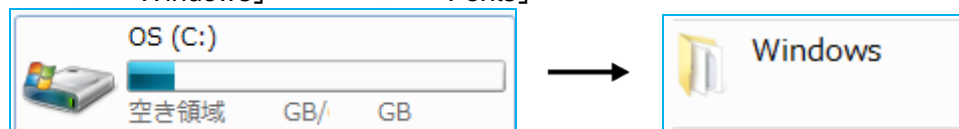
「フォント」をクリックします。



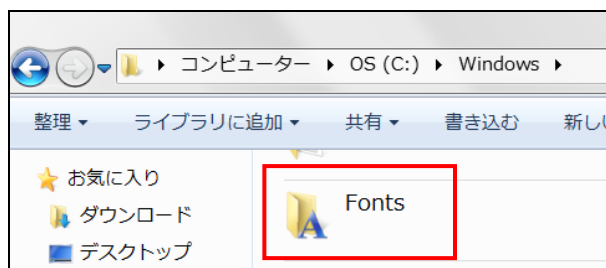
または

「スタートボタン」 → 「コンピューター」 → 「ローカルディスク」

→ 「Windows」 → 「Fonts」



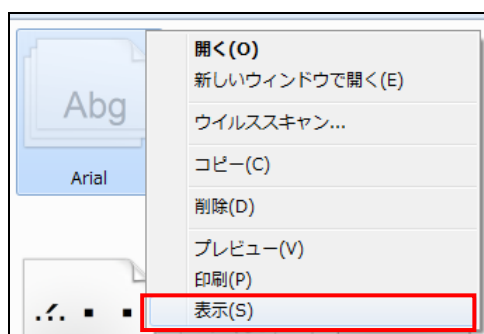
「フォント」フォルダを開きます。



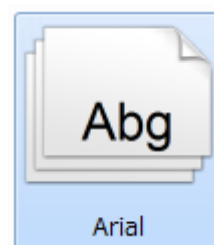
「フォント」フォルダを開くとシステムにインストール済みの全てのフォントを表示しますが一部のフォントは影が薄くなっています。影が薄くなっているフォントは一般のアプリケーションでは使用できないフォントです。



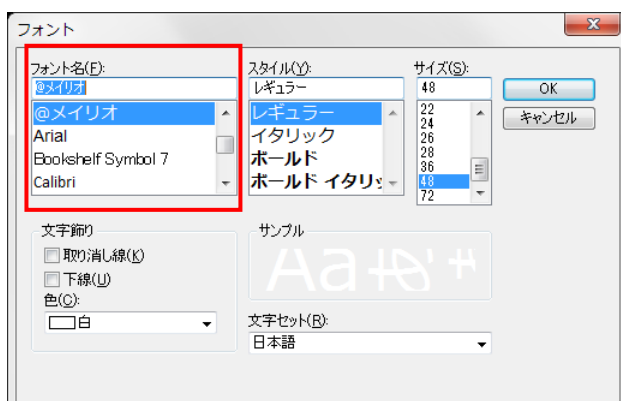
一覧に表示するにはフォントアイコンを右クリックし「表示」を選択します。



通常表示に変わります。



フォント一覧を確認します。



一覧に表示します。



注 記

- フォントを大量に「表示」すると一部のアプリケーションのパフォーマンスが低下します。フォントを表示する際はご注意ください。

注 記

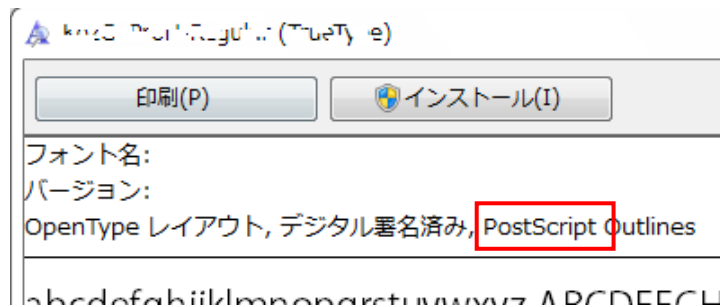
- フォントの使用制限について(対象 Windows Vista / Windows 7)

下図のフォントのプロパティで示すような PostScript 形式のフォントは Layout ツールからは印刷できません。Windows の標準フォントに置き換わって印刷されます。

Windows Vista / Windows 7 でこれらのフォントを使用する場合は、グラフィックアプリケーション等でテキストを画像ファイルにしてからご利用ください。

フォント プロパティの例

フォントのプロパティは「フォント」フォルダのアイコンをクリックする事で表示できます。



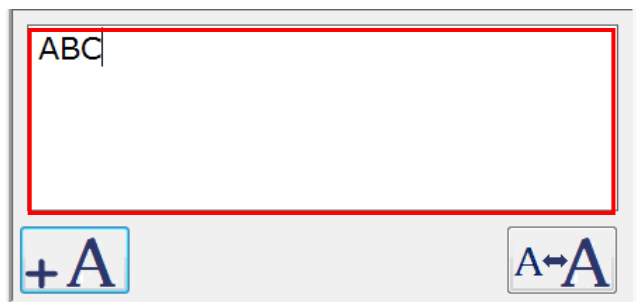
- PostScript フォントは Windows の標準状態ではインストールされていません。
- PC に詳しい方の為の補足
この形式のファイルは拡張子.otf である場合が多い為、コマンドプロンプト上で
C:¥> cd C:¥Windows¥Fonts + ENTER
C:¥Windows¥Fonts> dir *.otf + ENTER
とする事で使用できないフォントの候補があるか確認することができます。

表示されたファイル名をコマンドプロンプト上で実行する事で、フォントのプロパティを表示できます。

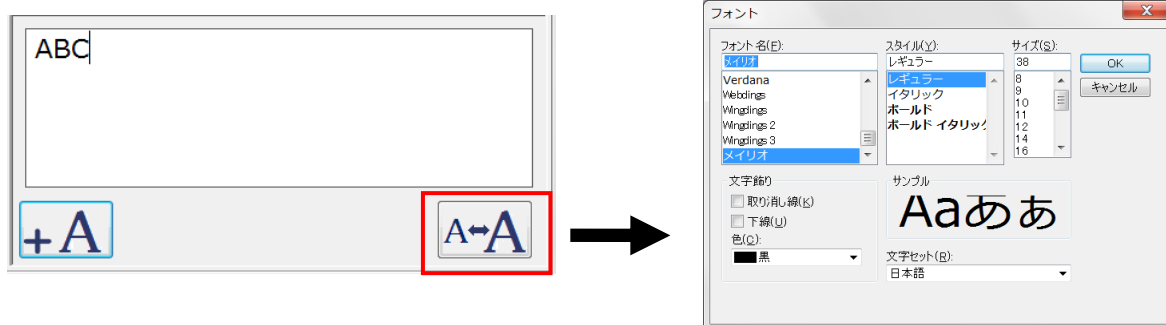
C:¥Windows¥Fonts> xxxx.otf + ENTER

⑩の「プラテン外枠/印刷」領域の印刷領域にテキストを表示する方法を説明します。

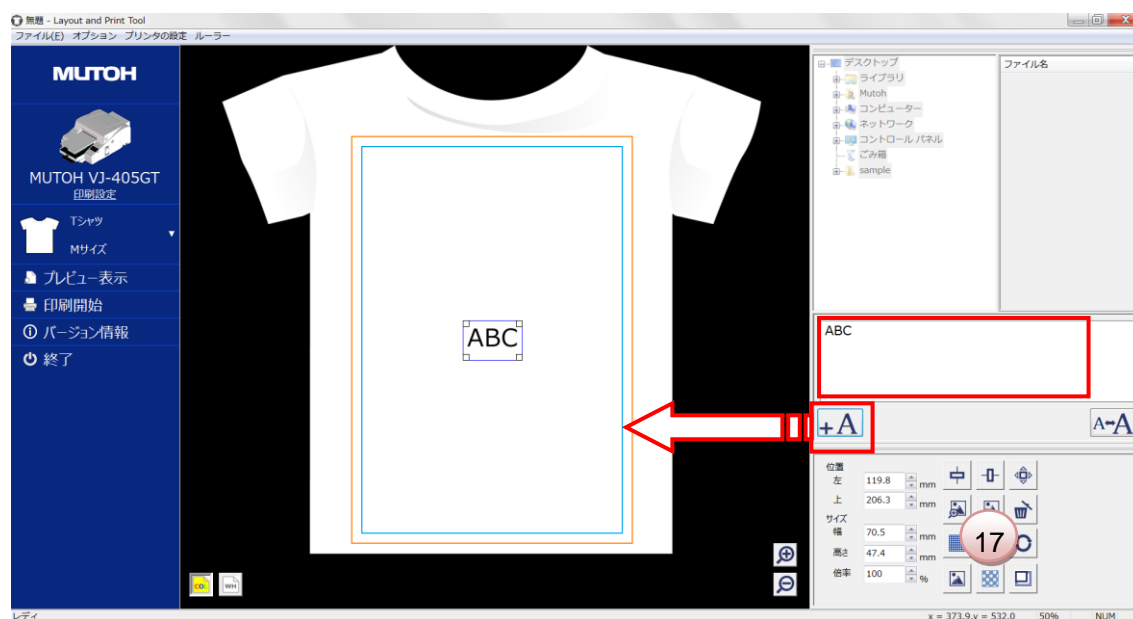
「テキスト入力領域」にテキストを入力します。



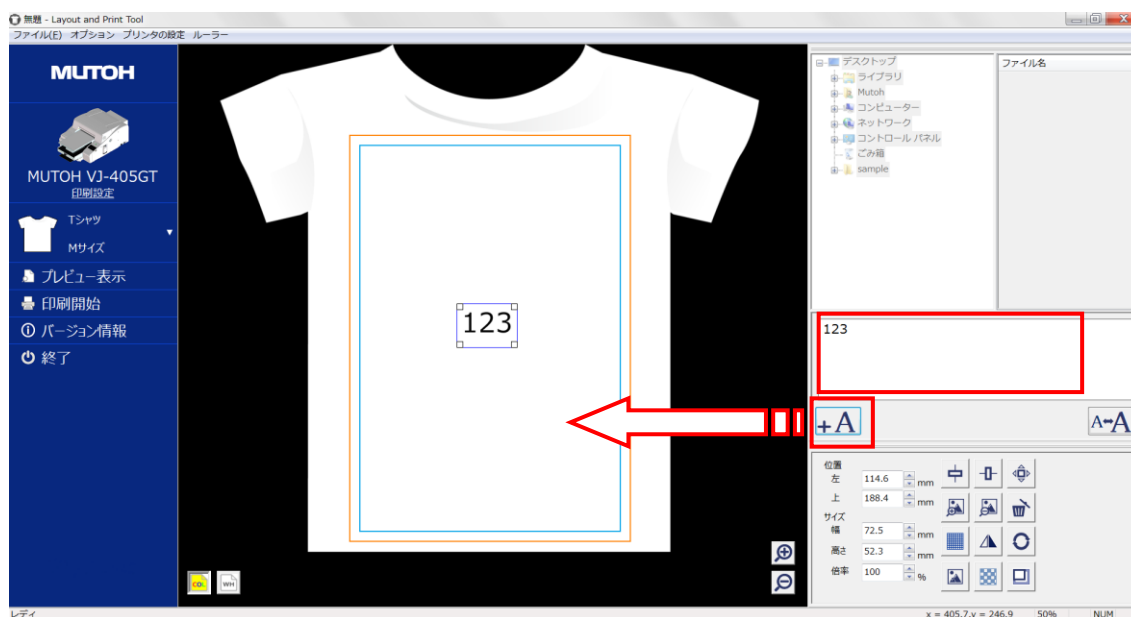
フォントの調整を行います。[フォント設定]をクリックすると「フォント」を表示します。



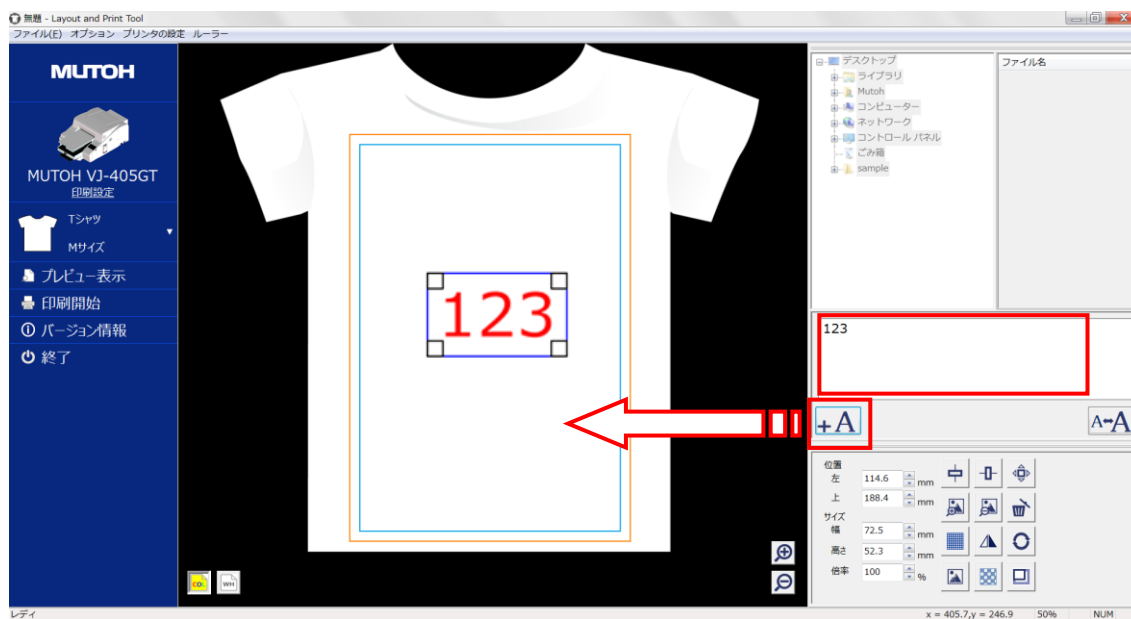
フォント調整後[挿入、更新]をクリックすると印刷領域にテキストを表示します。
拡大縮小、移動は画像の時と同様に⑪の各編集ツール、マウスが使用できます。



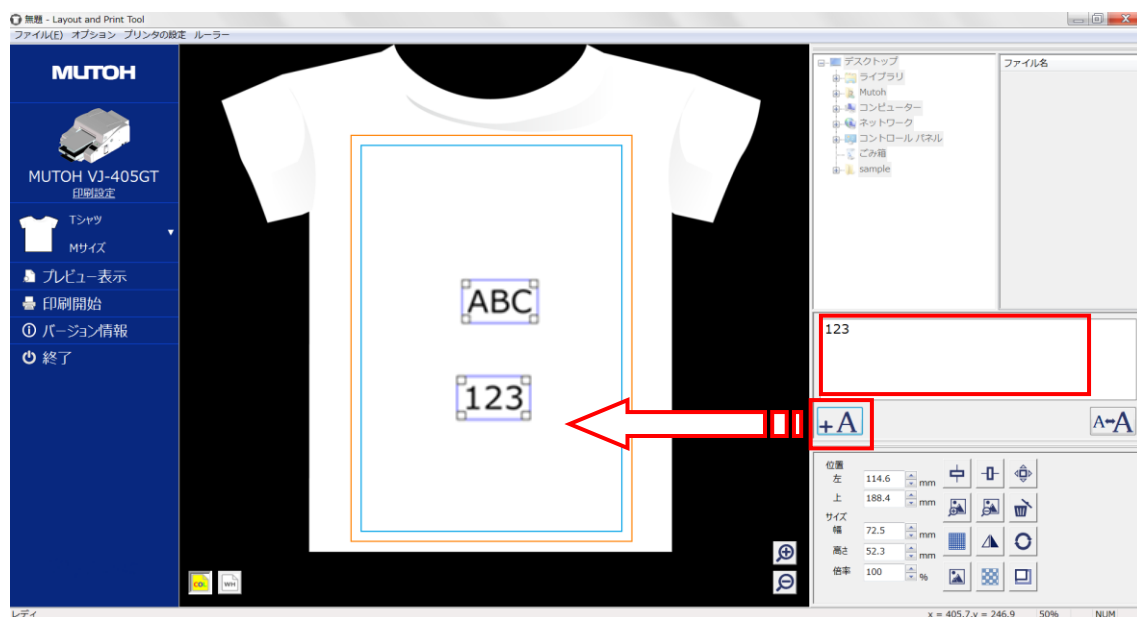
テキストの更新は新規にテキストを入力し、印刷領域表示中の更新対象のテキストをマウスでクリックし選択中であることを確かめてから[挿入、更新]をクリックしてください。



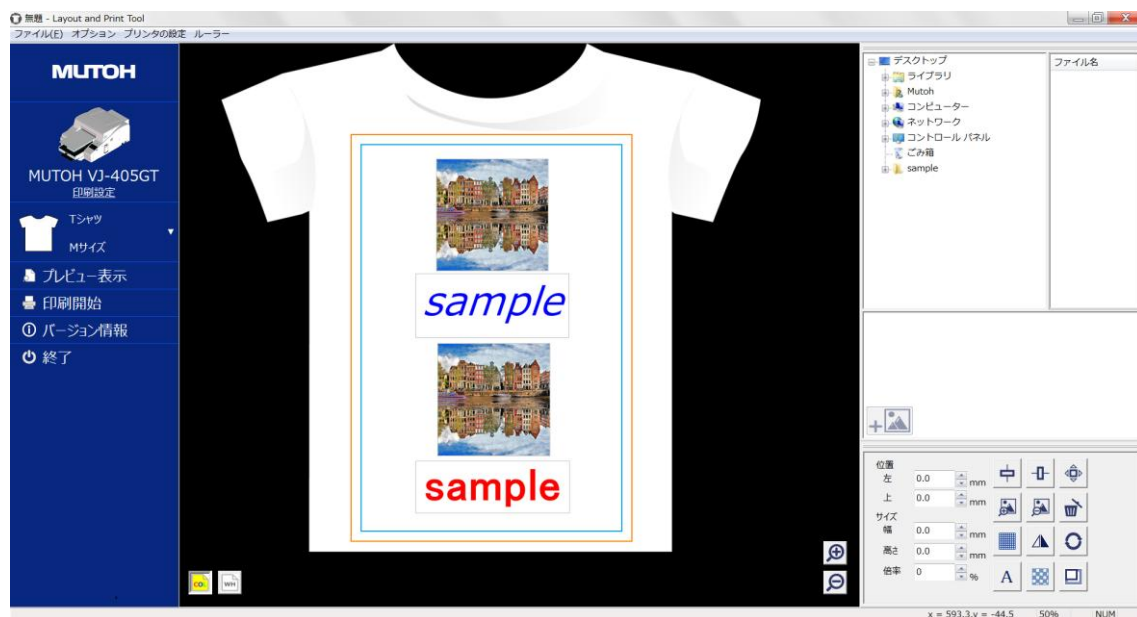
[フォント設定]クリックでフォントの更新を行います。



印刷領域表示中のテキストが選択されていないければ新たにテキストを追加します。

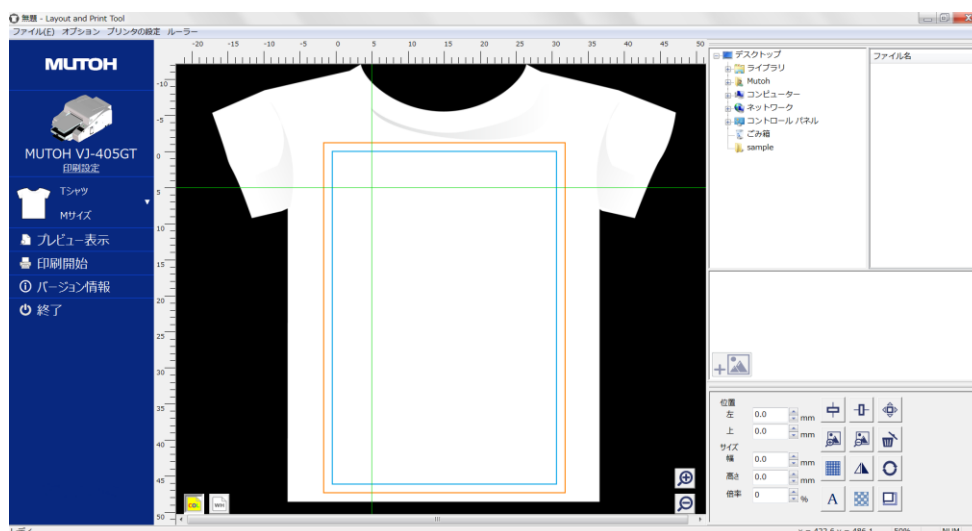


画像データと併用できます。



8-13 ルーラーと補助線

ルーラーメニューから、ルーラーと補助線を設定できます。
ルーラー表示を設定すると次回起動時にも有効になります。



補助線はファイルに保存され、次回ファイルを開いたときに表示されますので、予め補助線だけのファイルを作成することでテンプレートファイルとして利用する事もできます。

以下のような用途でご利用ください。

目印

- ・ワンポイントやテキストを印刷する位置が決まっているときの印として
- ・印刷開始位置が判りづらい自作プラテンで、印刷位置の印として
- ・メディアのタグ位置を示す印として

大きさを調べる

- ・テキストの実際の文字部分の大きさを測る。



1). ルーラー

ルーラーにチェックをいれる则表示されます。



注 記

- ルーラーのメモリの間隔は編集領域の拡大、縮小率により異なります。
 30%未満の時、50mm 単位
 30%以上の時、10mm 単位

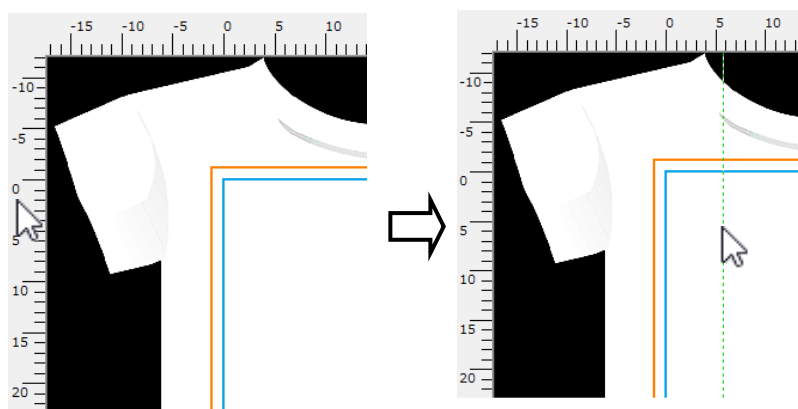
2). 補助線

画面上に描画できる補助線の本数は、縦横各々10本です。

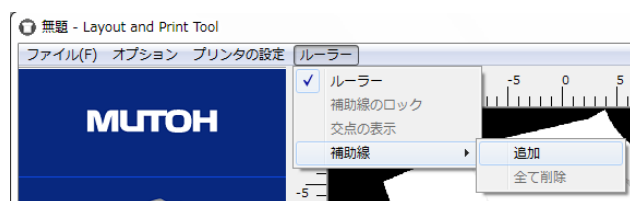
補助線はマウスのドラッグで移動する事ができます。

補助線を引くには2通りの方法があります。

- ・ルーラーを左クリックした状態で、そのまま編集エリアまでドラッグします。



- ・補助線メニュー → 追加 で表示されるダイアログで指定する方法



ルーラーメニュー → ガイド → 追加を選択し、ダイアログを表示します。

水平方向か、垂直方向かを選び、目盛りの0からの距離を指定します。



ダイアログを再び開くと、前回挿入した補助線の 10mm 下または右の数値が表示されます。

反原点を指定すると、0点の逆からの距離で指定できます。

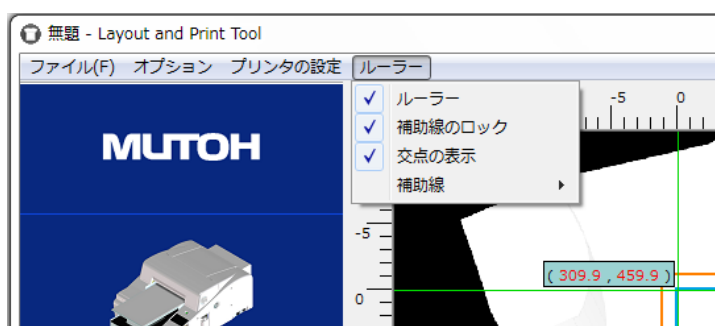
補助線は選択状態では赤色で表示されます。

3). 補助線に関する表示機能

補助線を引くと、補助線の間の距離が表示されるようになります。この表示はルーラーが表示されている時だけ有効です。

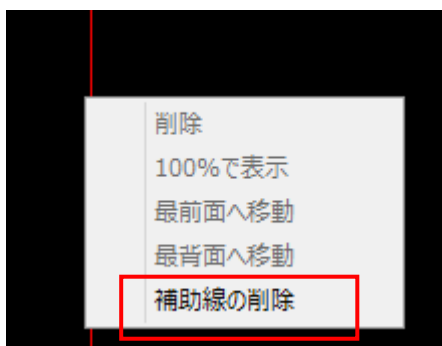


メニューで「交点の表示」を選択すると、補助線の交点の座標を表示できます。

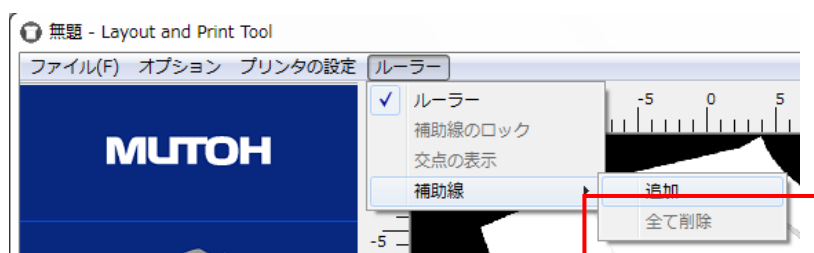


4). 補助線の削除

補助線を消すときは、補助線上でマウスの右クリックで、補助線の削除を選択します。

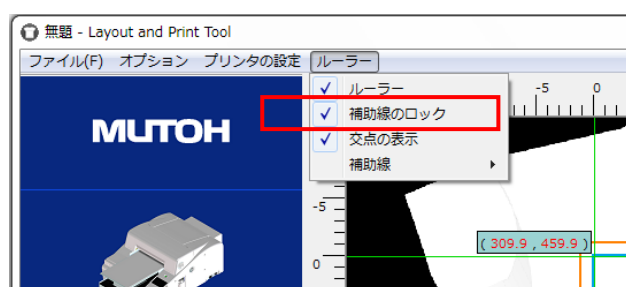


全ての補助線を削除する時は
ルーラー > 補助線 > 全て削除
を指定してください。



5). 補助線のロック

補助線の位置が決まったら、マウスで誤って操作しないようにロックしてください。



補助線を含むファイルを開いたときには、ロックされた状態になります。

8-14 画像の中の一部の色を透明にする

簡易的な画像の加工機能です。

画像の中の色を1色指定して、透明色に置き換える事ができます。

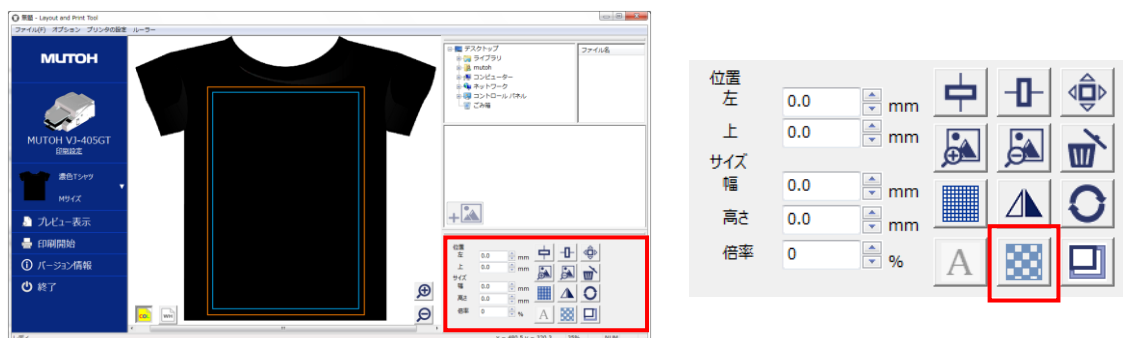
作例



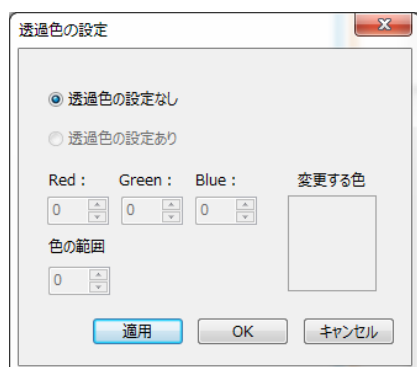
注 記

- 単色指定、色の範囲指定のいずれの場合でも、画像により意図しない部分が透明になる、或いは十分に消しきれない場合があります。
きれいに仕上げる為にはグラフィックアプリケーションによる加工を推奨いたします。
- 詳細や応用について VJ-404GT ユーザーの方も「ホワイトプリントガイド」の「画像の一部を透明にする」を参照してください。
適用例や簡易的な回避方法について解説しています。

編集ツールのアイコンをクリックすると、透明色の設定ダイアログが起動します。



画像が選択されていない場合は、操作できません。



Layout ツールで挿入したテキストに対する色の透明化はできません。テキスト挿入機能で色を変更するか文字を書き換えてください。

透明色の設定ありを選択すると、編集画面の画像をマウスでクリックした場所の色が変更する色、として表示されます。



色の範囲を指定する事で、指定色に近い色も同時に透明色に設定できます。

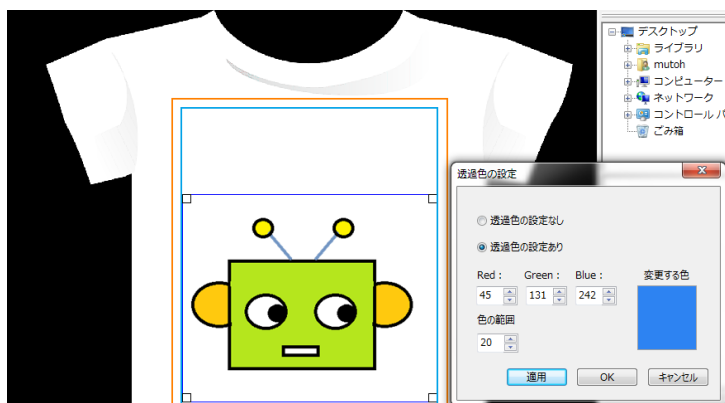


範囲指定の例

淡色指定時(色の範囲=0)



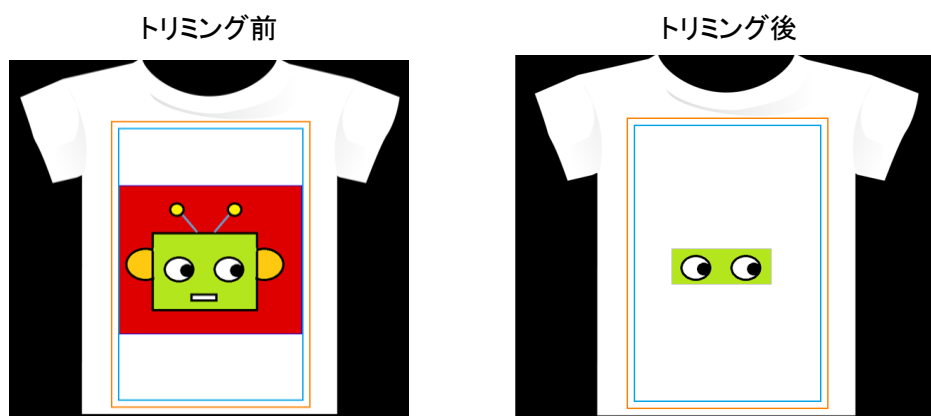
範囲指定時(色の範囲=20)



8-15 画像のトリミング

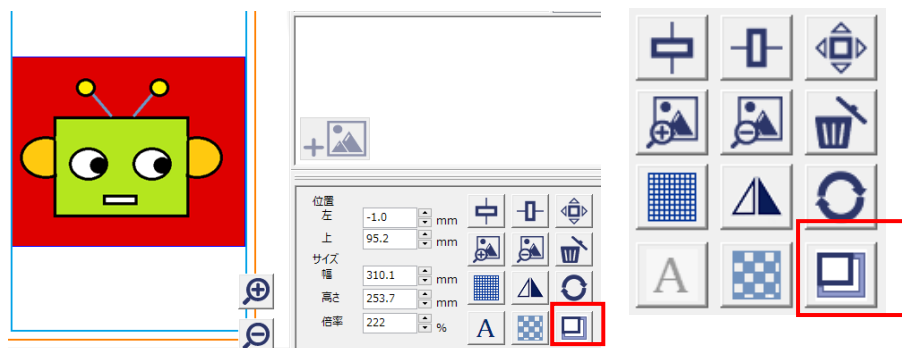
簡易的な画像の加工機能です。
画像の一部だけを利用する事ができます。

作例

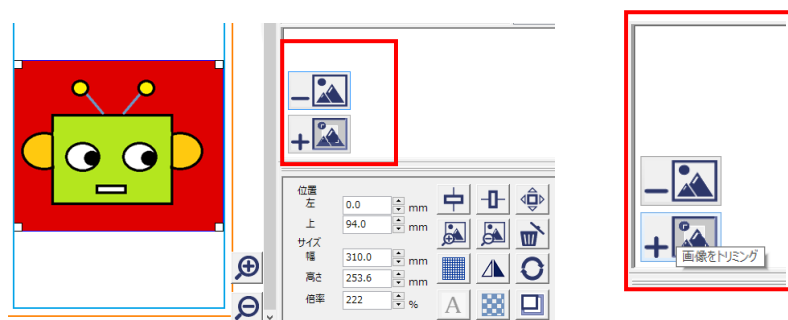


① トリミング操作方法

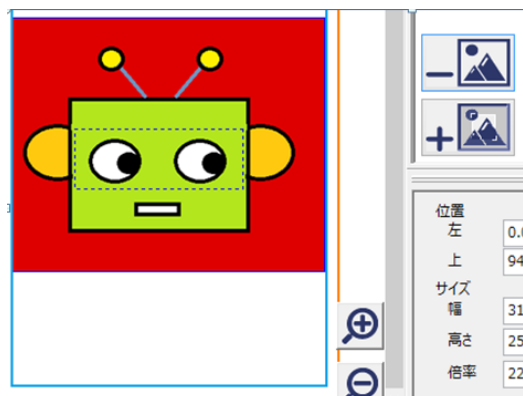
画像を選択し、トリミングボタンを押します。



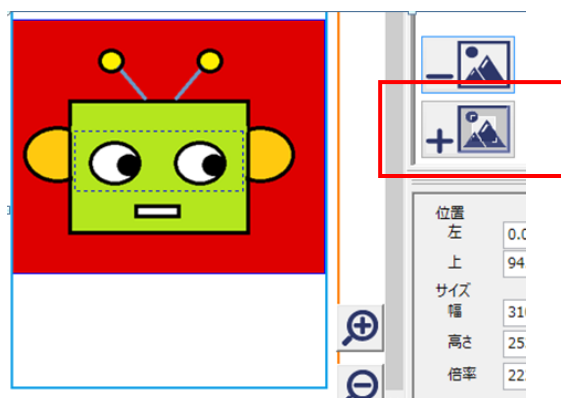
編集モードに切り替わり、画像をトリミングボタンと、画像を元に戻すボタンが表示されます。



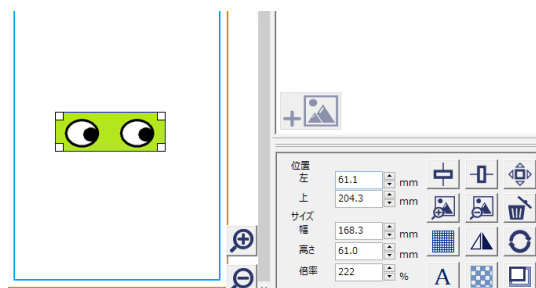
切り出したい部分をマウスで指定します。
指定部分は点線で囲み表示されます。



画像をトリミングボタンを押すと、選択範囲を確定しトリミングモードを終了します。

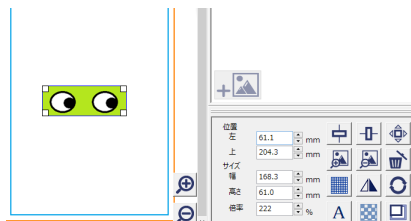


編集完了



② トリミングの解除操作方法

トリミングした画像を選択します。

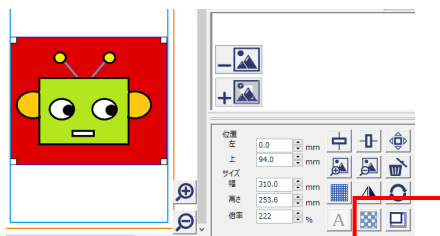


トリミング状態であれば、画像を元に戻すボタンだけが有効になっています。



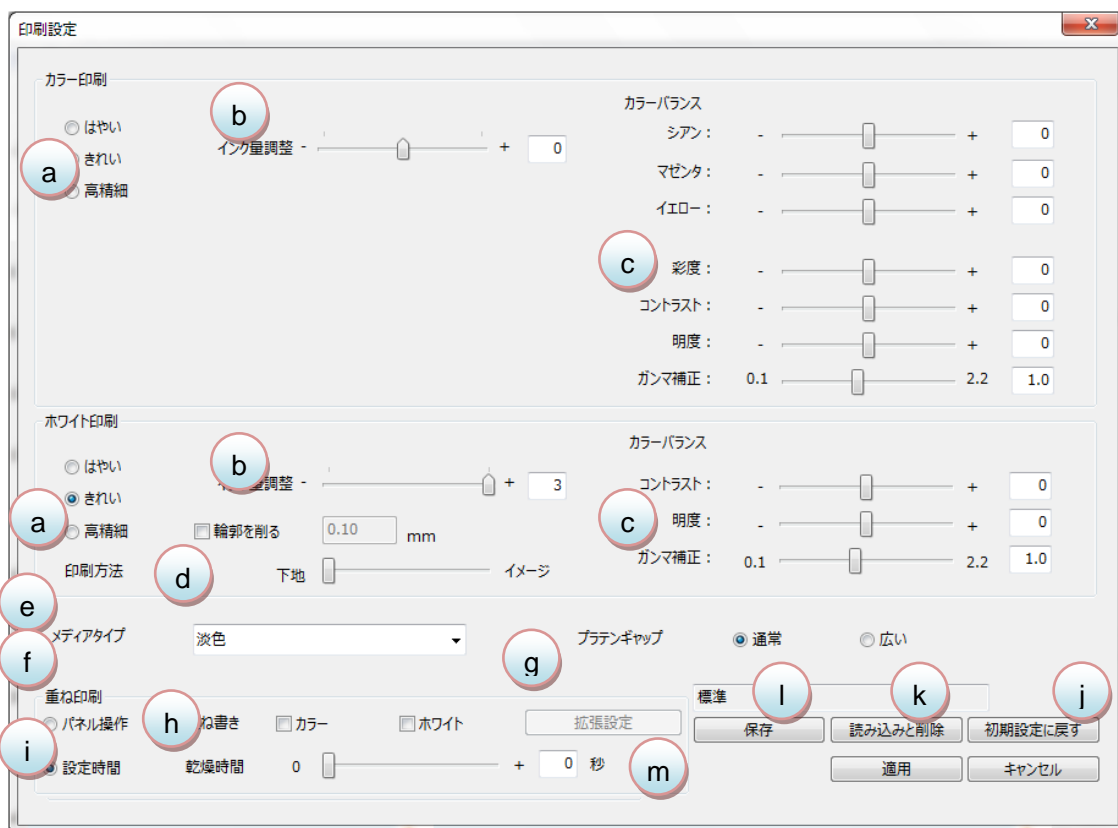
ボタンを押すと、画像全体が表示されます。

トリミングの切替えボタンをおして、編集モードを解除します。



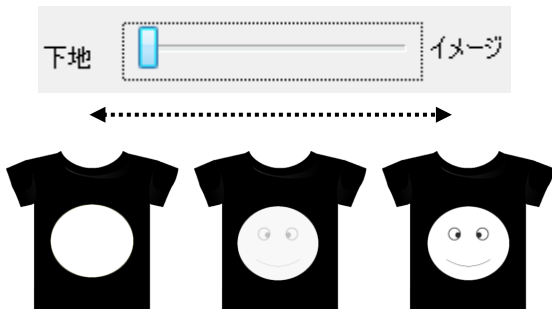
8-16 作画設定

④の「作画設定」をクリックすると作画設定画面が表示されます。
各種の色、インクの調整等を行います。



※b、c、e 及び i の「乾燥時間」の各コントロールはつまみをドラックして設定してください。

| | | |
|---|--------|---|
| a | 印刷品質 | 印刷品質を「はやい」、「きれい」、「高精細」のうちいずれかで選択します。 |
| b | インク量調整 | インク量を調整します。-3～+3 の範囲を 1 刻みで設定します。 |
| c | シアン | 各色のカラーバランスを調整します。 -20～+20 の範囲を 1 刻みで設定します。 |
| | マゼンタ | |
| | イエロー | |
| | 彩度 | 色の鮮やかさを調整します。-20～+20 の範囲を 1 刻みで設定します。 |
| | コントラスト | 色の輝度差を調整します。-20～+20 の範囲を 1 刻みで設定します。 |
| | 明度 | 色の明るさを調整します。-20～+20 の範囲を 1 刻みで設定します。 |
| | ガンマ補正 | 中間色の明るさを調整します。0.1～2.2 の範囲を 0.1 刻みで設定します。 |

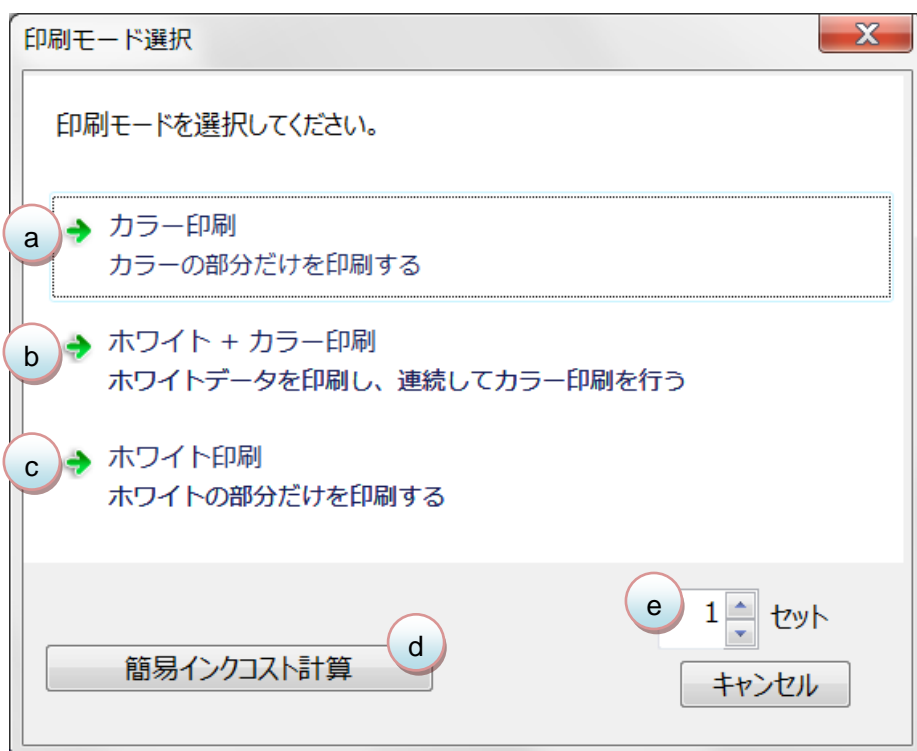
| | | |
|---|----------|--|
| d | 輪郭を削る | <p>✓で輪郭を調整します。0.01mm 刻みで設定します。</p> <p>ホワイト印刷時、白インクの膨張による輪郭のズレを調整する際に設定します。</p> |
| e | 印刷方法 | <p>ホワイト印刷時、元のカラー濃度を活かすか、濃い白で印刷するかを指定します。</p> <p>調整イメージ</p>  <p>詳細は別紙「ホワイトプリントガイド」をご覧ください。</p> |
| f | メディアタイプ | Tシャツの生地から「淡色」、「濃色」「淡色ポリエステル」のいずれかで選択します。 |
| g | プラテンギャップ | インクの飛散の調整を「通常」、または「広い」のいずれかで選択します。 |
| h | 重ね書き | <p>✓で「カラー」「ホワイト」それぞれ重ね書きを行います。</p> <p>インク乗りが悪い目が粗い生地と同じ色の重ね書きを行うことで生地へインクを浸透させます。</p> |
| i | 重ね印刷 | <p>重ね印刷を行う際の印刷と印刷の合間、メディアセット間隔が設定できます。これによりインクの乾燥時間を調整します。「設定時間」は右の「乾燥時間」に従い自動でメディアセットを行います。</p> <p>スライダーによる操作では 0～300 秒の範囲を 10 刻みで設定します。</p> <p>ダイアログボックスによる操作では 0～600 秒を 10 刻みで設定します。</p> <p>「パネル操作」ではメディアセットを手動でパネルから操作します。</p> |
| j | 初期設定に戻す | クリックで元の初期設定に戻します。 |
| k | 読み込みと削除 | 作画設定の設定値を読み込と削除ダイアログを表示します。 |
| l | 保存 | 作画設定の設定値を保存します。 |
| m | 拡張設定 | <p>重ね印刷時の乾燥時間指定用の拡張設定ダイアログを表示します。</p> <p>「6-5 重ね印刷の乾燥時間」参照</p> |

8-17 印刷

編集終了後、⑧の[指定されたプリンタで印刷を開始する]をクリックすると、

印刷モード画面を表示します。

印刷モードの選択の他、「簡易インクコスト計算」画面の表示、印刷回数の設定が行えます。



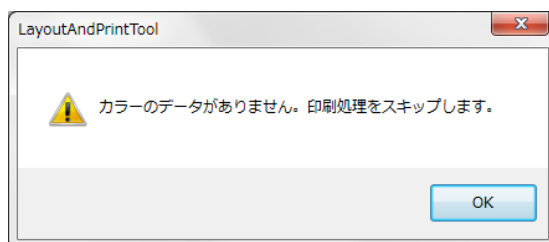
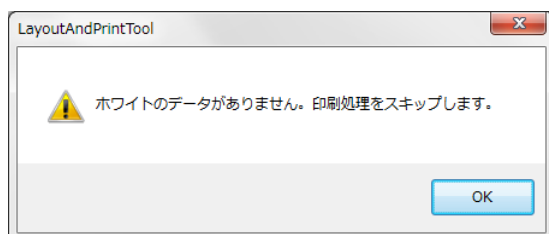
| | | |
|---|------------|------------------------------|
| a | カラー印刷 | カラーデータを印刷します。 |
| b | ホワイト+カラー印刷 | ホワイトデータを印刷後、続けてカラーデータを印刷します。 |
| c | ホワイト印刷 | ホワイトデータを印刷します。 |
| d | 簡易インクコスト計算 | 「簡易インクコスト計算」画面を表示します。 |
| e | 印刷回数 | 各印刷モードの印刷回数を設定します。 |

注 記

- 印刷モードで「ホワイト印刷」、「ホワイト+カラー印刷」の選択時に、対象のホワイトデータがない場合、「カラーデータでホワイト印刷しますか？」を表示します。カラーデータをホワイト印刷に使用する場合は[OK]をクリックしてください。



- 該当データがない場合は、警告画面が表示されます。

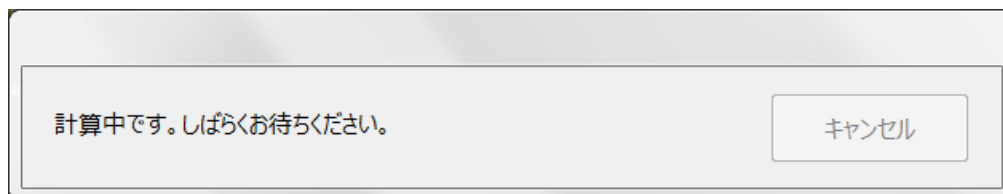


8-18 簡易インクコスト計算

「6-15 印刷」でも触れましたがインクの使用量、インクコストを表示します。

| | | |
|---|------------------------|---|
| a | 使用量 | インクの使用量を簡易計算し表示します。 |
| b | インクコスト | c の「カートリッジ単価」よりインクコストを簡易計算し表示します。 |
| c | カートリッジ単価 | カートリッジ単価「カラー」「ホワイト」を入力します。 入力後、d の「更新」クリックで b の「インクコスト」を表示します。 |
| d | 更新 | c の「カートリッジ単価」を更新します。 一度更新された単価は再び更新されるまで保存されます。 |
| e | カラー 簡易インクコスト計算 | クリック後は印刷せずに各印刷モードでコスト計算を行います。 計算終了後は結果を「簡易インクコスト計算」画面に表示します。 |
| f | ホワイト+カラー 簡易インクコスト計算 | |
| g | ホワイト 簡易インクコスト計算 | |

- 「簡易インクコスト計算」中は印刷モード選択後に計算中であることを示す表示をします。計算終了後までしばらくお待ちください。



注 記

簡易インクコスト計算機能は正確なインクの使用量を表示するものではありません。

目安としてご利用ください。

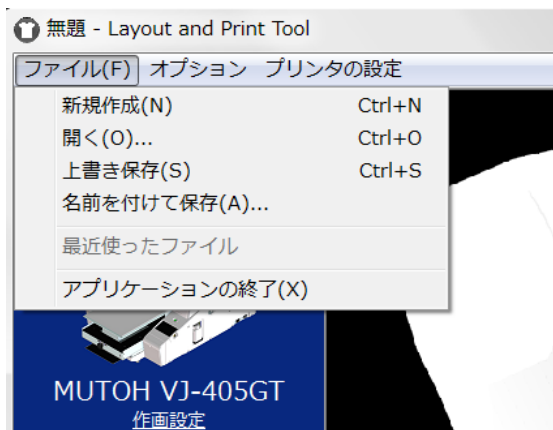
データにより同一画像でも計算結果にバラつきが現れる場合があります。

ホワイト輪郭削りの処理は計算時には使用されません。

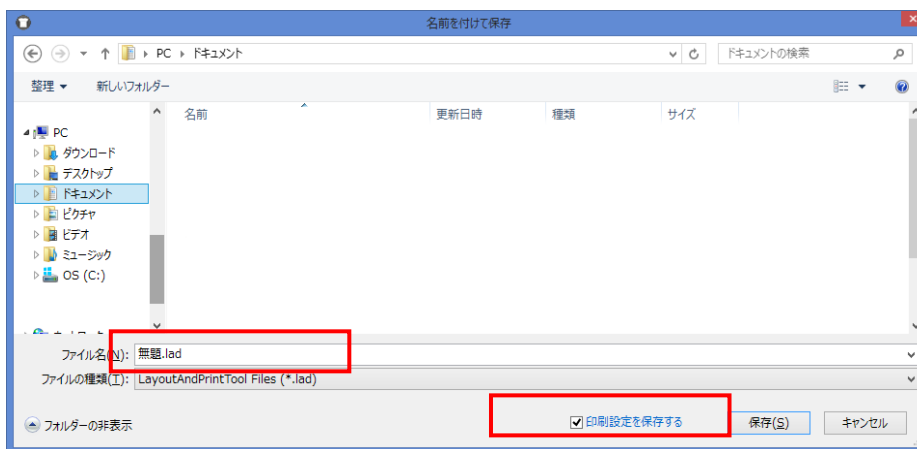
8-19 ファイルの保存と読み込み

ファイルの保存と読み込みは、メニューバーの「ファイル」メニューから行います。

プラテンの種類、画像データ、画像の配置の保存と読み込みを行います。



保存と読み込みにはファイル拡張子「.lad」を使用します。



作画設定も保存に含める場合は、印刷設定を保存する、のチェックボックスを有効にしてください。一度有効にするとチェックボックスは常に有効になりますので、不要な場合は改めて外してください。

注 記

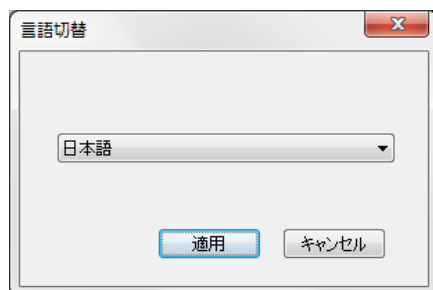
- 大量の画像や、大きな画像を使用している場合は、ご利用の PC のディスクの残り容量にご注意ください。

8-20 言語切替

言語切り替えは、メニューバーの「オプション」メニューより「言語切替」をクリックします。



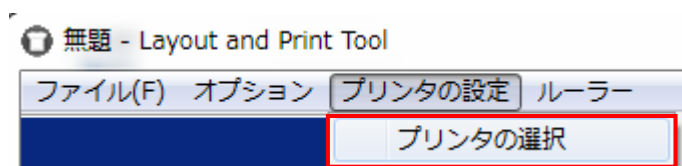
「言語切替」画面を表示します。



リストから「日本語、英語、中国語、韓国語」のいずれかを選択し〔適用〕をクリックしてください。

8-21 プリンタ選択

メイン画面「プリンタの設定」から、「プリンタの選択」を選択し、「プリンタ選択」画面を表示します。



対応機種を選択し〔適用〕をクリックしてください。



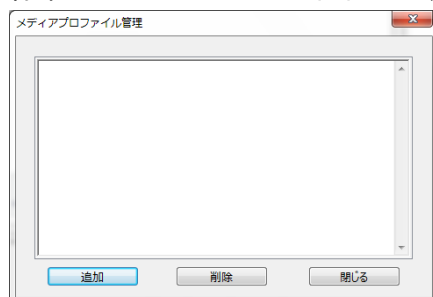
8-22 メディアプロファイルの追加

メディアプロファイルを追加する必要がある場合は以下の方法で追加してください。

オプションのメディアプロファイル管理を選択します。



ダイアログが表示されたら追加ボタンで、新しいプロファイルを選択します。
標準のプロファイルはこの画面には表示されません。



プロファイルを削除する場合もこのメニューから行います。

この機能はドライバのプロファイル追加機能と共通の処理になっています。どちらかで操作すれば両方から使用可能です。

追加されたプロファイルは、印刷設定画面の「メディアタイプ」から選択できるようになります。



注 記

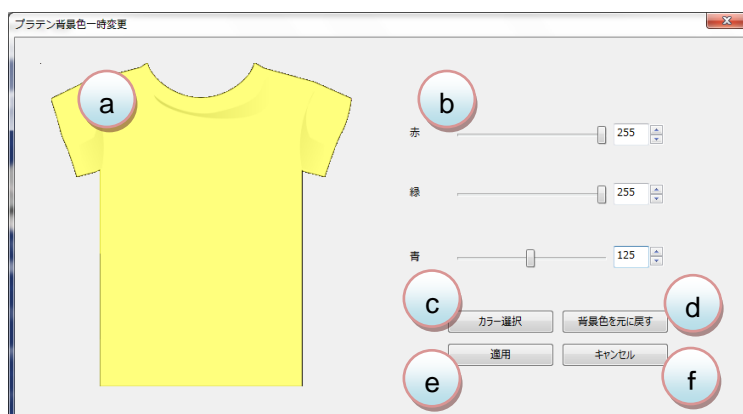
- 製品に必要なメディアプロファイルはドライバ及び Layout ツールに組み込まれています。
- 本機能では弊社提供のメディアプロファイル以外は使用できません。


8-23 プラテン背景色の変更

以下を選択すると、プラテンの背景表示色を一時的に変更する為のダイアログが表示されます。



ダイアログ画面説明



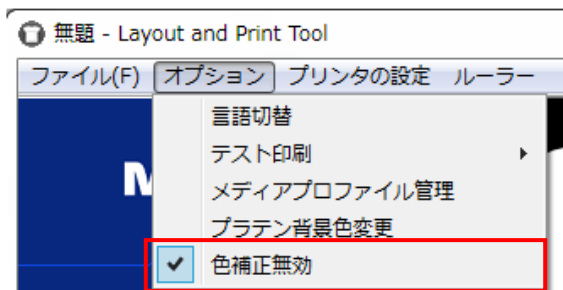
| | 名称 | 機能 |
|---|----------|---|
| a | プレビュー | 変更後のカラーイメージを表示します。 |
| b | RGB 設定 | RGBを直接設定する場合に使用します。 |
| c | カラー選択 | 色設定のダイアログを表示します。  |
| d | 背景色を元に戻す | 標準の背景色に戻します。 |
| e | 適用 | ダイアログを閉じ、画面に色を適用します。 |
| f | キャンセル | 変更せずにダイアログを閉じます。 |

注 記

- 変更した背景色は、プラテン切替え操作時と次回起動時にプラテンに対応した初期状態に戻ります。

8-24 色補正無効印刷

インクの原色を使用したい場合、以下のメニューを有効にします。

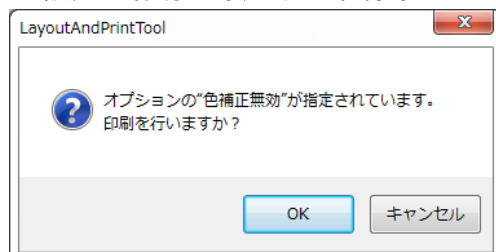


インクの原色とRGB値の対応は以下の通りです。(Xは0から255の数値)

| インク色 | RGB値 |
|------|----------------|
| ブラック | (X, X, X) 全て同値 |
| シアン | (X, 255, 255) |
| マゼンタ | (255, X, 255) |
| イエロー | (255, 255, X) |

注 記

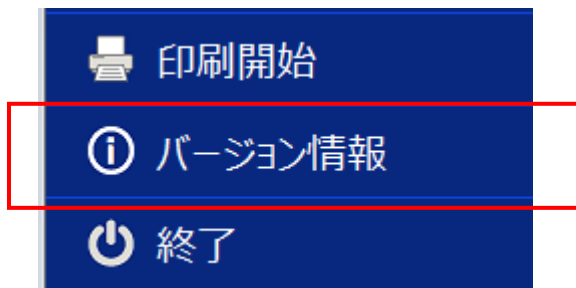
- この設定による印刷結果は、多くの場合元の画像と異なった結果になります。
- この設定が有効な時、カラー印刷時に以下の確認ダイアログが表示されます。



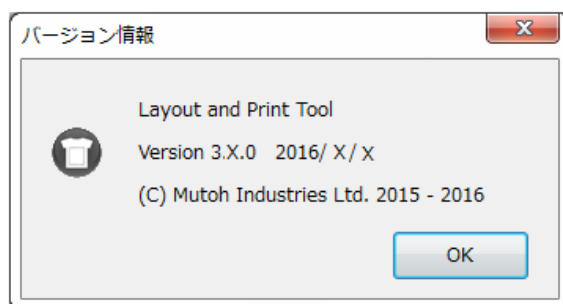
- この設定は次回起動時、自動的にチェックマークが外れます。
- lad ファイルに保存した場合も、この設定は含まれません。

8-25 バージョン表示

「バージョン情報」をクリックします。



バージョン情報を表示します。



8-26 ライセンス

本アプリケーションでは以下のソフトウェアを使用しています。

ライセンスの原文については、アプリケーションフォルダに配置する「LICENSE」ファイルを参照してください。

Open Source Computer Vision Library (OpenCV)

Ver.2.4.10

Copyright (C) 2000-2008, Intel Corporation, all rights reserved.

Copyright (C) 2009-2010, Willow Garage Inc., all rights reserved.

9 PlatenEditTool について

9-1 PlatenEditTool による新規プラテン定義

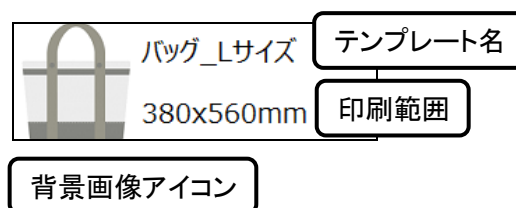
Layout ツールでは印刷範囲をプラテンリスト中「L,M,S」の 3 種類から選択できますが、この他の印刷範囲を使用したい場合、PlatenEditTool (以下、Platen ツール) でテンプレートを作成しプラテンリストから選択します。

Platen ツールでは印刷範囲の設定の他に背景画像の設定ができます。
設定した内容はテンプレートとしてプラテンリストに追加し表示します。
詳細は Platen Edit Tool のマニュアルを参照してください。

通常のプラテンリスト



テンプレートを加えたプラテンリスト

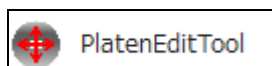


背景画像、印刷範囲の表示



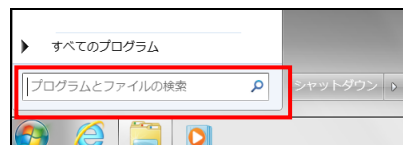
9-2 起動方法

検索ボックスに「PlatenEditTool」と入力し検索します。
表示されるアイコンをクリックし起動してください。



● Windows7

「スタートメニュー」から
「プログラムとファイルの検索」を表示します。



● Windows8/8.1

「スタート」画面から検索アイコンをクリックし
検索ボックスを表示します。



「PlatenEditTool」アイコン右クリック
「スタート画面にピン留めする」で
スタート画面にタイルが作成されます。



9-3 PlatenEditTool の応用

製品に同梱されているプラテン M サイズで T-シャツ以外のアイテムを印刷する場合や、
プラテン M サイズの上に自作のプラテンを置いて印刷する場合は、印刷するアイテムに合わせて
プラテンツールで新規の印刷範囲を設定することが可能です。

MUTOH